

○逓信省告示第三百三十一號

逓達郵便規則ニ依リ明治四十四年二月十一日ヨリ左ノ地域ニ發著スル郵便物ノ逓達取扱ヲ開始ス
明治四十四年二月一日
逓信大臣 男爵後藤新平

- 一 東京市内各郵便局、内藤新宿郵便局及澁谷郵便局郵便區市内及其ノ相互間
- 二 前記地域ト横濱市内各郵便局郵便區市内トノ間

○逓信省告示第三百三十二號

東京市内赤坂郵便局ニ於テハ當分ノ内郵便物ノ窓口引受及郵便爲替、郵便貯金事務ノ取扱ヲ爲サ
ス但シ逓達郵便物及別配逓郵便物ハ此ノ限ニ在ラス
明治四十四年二月一日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第三百三十三號

本月十一日ヨリ横濱櫻木郵便局ニ於テ逓達郵便物ニ限リ特ニ之カ配達事務ヲ取扱フ
明治四十四年二月一日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第三百三十四號

本月六日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス但シ電話呼出規程第四條ノ取扱ヲ爲サス
明治四十四年二月一日
逓信大臣 男爵後藤新平

名稱 横須賀遠見郵便局

位置 横須賀市遠見

○逓信省告示第三百三十五號

名古屋港防砂堤頭部ニ設置セル名古屋港防砂堤頭部浮標(明治四十年^三逓信省告示第三百二十八號
參照)ノ構造等本月一日ヨリ左記ノ通り變更ノ旨同縣ヨリ報告アリ
明治四十四年二月一日
逓信大臣 男爵後藤新平

明治四十四年二月一日

逓信大臣 男爵後藤新平

名古屋港防砂堤頭部浮標

一構造及著色 鐵造圓錐形、目標菱形、黑白橫線
一水面上ノ高 十七尺一寸

○逓信省告示第三百三十六號

明治四十三年十一月十五日限リ左記續業特設電話所ヲ廢止セリ

明治四十四年二月三日

逓信大臣 男爵後藤新平

名稱 津波黒嶺業特設電話所

位置 福岡縣糟屋郡勢門村

○逓信省告示第三百三十七號

本月五日ヨリ左記郵便局ヲ移轉改稱ス

明治四十四年二月四日

逓信大臣 男爵後藤新平

現名稱

現在位置

改稱

移轉位置

金屋岩黒郵便局

富山縣東礪波郡東山見村

青島郵便局

富山縣東礪波郡青島村

○逓信省告示第三百三十八號

明治三十三年^八逓信省告示第三百三十四號電話呼出地域中左ノ通追加改正^シ本月十六日ヨリ之ヲ施行ス
明治四十四年二月四日
逓信大臣 男爵後藤新平

明治四十四年二月四日

逓信大臣 男爵後藤新平

追加

- 「信濃國小縣郡青木村」ノ項字洞ノ下ニ「同中村」
- 「信濃國下伊那郡下久堅村」ノ項字知久平ノ下ニ「同牧ノ内、同南原北平、大字虎岩字遠平」
- 「信濃國下伊那郡龍丘村」ノ項大字時又ノ下ニ「同長野原」
- 「信濃國上伊那郡宮田村」ノ項字太田切ノ下ニ「同中越、同南郷ノ内田中」
- 「信濃國上伊那郡赤穂村」ノ項字白銀ノ下ニ「同小町谷、同福岡」

改正

「信濃國南佐久郡野澤町」項(大字跡部同三塚ヲ除ク)ノ前除ス
○逓信省告示第百三十九號
本月六日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十四年二月四日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第百四十號

本月六日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十四年二月四日

逓信大臣 男爵後藤新平

名	位	名	位
朝日郵便局	福井縣丹生郡朝日村	大戸郵便局	群馬縣野澤郡上村
四箇浦郵便局	福井縣丹生郡四箇浦村	岩下郵便局	群馬縣野澤郡岩下村
中山郵便局	群馬縣野澤郡高山村	大佐郵便局	群馬縣野澤郡大佐村
箱島郵便局	群馬縣野澤郡東村		

○逓信省告示第百四十一號

明治三十三年ハ逓信省告示第百三十四號電話呼出地域中左ノ通追加ノ本月六日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月四日

逓信大臣 男爵後藤新平

「越前國敦賀郡栗野村」ノ項ノ次ニ

越前國丹生郡朝日村大字西田中同内郡同氣比庄同寶泉寺同天王同田中同市村同馬場
越前國丹生郡四箇浦村大字梅浦同新保浦同宿浦

「上野國吾妻郡草津町大字草津字西町」ノ項ノ次ニ

上野國吾妻郡高山村大字中山字新田

上野國吾妻郡東村大字箱島字寄同宮前同的場同足リ保
上野國吾妻郡坂上村大字大戸字大戸字同新橋同鳴瀬
上野國吾妻郡岩島村大字岩下(字内野ヲ除ク)
上野國吾妻郡箱島村大字大佐字大佐

○逓信省告示第百四十二號

明治三十九年ハ逓信省告示第百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加ノ本月六日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月四日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	一區話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一區話ノ通 常電話料
朝日福井間	金十錢	草津箱島間	金二十錢
朝日敦賀間	金二十錢	草津大戸間	金十五錢
朝日三國間	金二十錢	草津岩下間	金十五錢
朝日武生間	金十錢	中山箱島間	金十五錢
朝日鯖江間	金十錢	中山大戸間	金十五錢
朝日栗田間	金十錢	箱島大戸間	金十五錢
朝日森田間	金十五錢	岩下中山間	金十五錢
四箇浦福井間	金二十錢	岩下箱島間	金十五錢
四箇浦敦賀間	金二十錢	岩下大戸間	金十五錢
四箇浦三國間	金二十錢	大佐箱島間	金二十錢
四箇浦武生間	金十五錢	大佐大戸間	金二十錢
四箇浦鯖江間	金十五錢		
四箇浦栗田間	金十五錢		
四箇浦朝日間	金十錢		
中ノ條中山間	金十錢		

○遞信省告示第四百三十三號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス但シ電話呼出規程第四條ノ取扱ヲ爲サス

明治四十四年二月四日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第四百四十四號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十四年二月四日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第四百四十五號

本日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス但シ六莊郵便局ニ於テハ電話呼出規程第四條ノ取扱ヲ爲サス

明治四十四年二月六日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第四百四十六號

明治三十三年八月遞信省告示第三百四十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月六日

遞信大臣 男爵後藤新平

大和國北葛城郡馬見村大字正相ノ項ノ次ニ
大和國吉野郡小川村大字家口(字小名時ヲ除ク)

○遞信省告示第四百四十七號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月六日

遞信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	一 通話料	加入區域外 通話區域	一 通話料	加入區域外 通話區域	一 通話料
家口大阪間	金二十五錢	家口吉野間	金十錢	長吹田東京間	金二十五錢
家口高田間	金十五錢	家口新子間	金十錢	長吹田名古屋間	金二十五錢
家口御所間	金十五錢	家口宮瀨間	金十錢	高取名瀬間	金十錢
家口五條間	金二十錢	家口大瀨間	金十錢	姫路安福間	金二十錢
家口上市間	金十錢	長濱堅田間	金二十五錢	姫路上野(總)間	金二十錢
家口下市間	金十五錢	同人福知山間	金二十五錢	姫路三方間	金二十錢
家口八木間	金十五錢	同人岩瀨間	金十五錢		

○遞信省告示第四百四十八號

本日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲ取扱フ

明治四十四年二月六日

遞信大臣 男爵後藤新平

中之條郵便局 群馬縣吾妻郡中之條町
喜連川郵便局 栃木縣鹽谷郡喜連川町

失板郵便局 栃木縣鹽谷郡失板町

○遞信省告示第四百四十九號

汽船開平丸外四十九艘ニ左ノ信號符字ヲ附ス

明治四十四年二月六日

遞信大臣 男爵後藤新平

信號符字	番	種類	船名	船籍	所
LDDKW	七二二八	汽	開平丸	相模國津賀町	八
LDMBB	七二二九	汽	多賀丸	相模國津賀町	所
LMBBH	九〇八二	汽	留多賀丸	後志國小樽區	有
LMWVK	一一二五九	汽	第五拾壹號金剛丸	後志國小樽區	知
LMWBN	一一二六〇	汽	第五拾貳號金剛丸	後志國小樽區	道
LKWB	一一七六二	帆	第四橋衛丸	日向國東海村	波

大文字岩掛燈立標

- 一 燈質 アセトン瓦斯閃光紅色每三秒時間ニ一閃光ヲ發ス
- 一 燭光數 五十
- 一 光達距離 晴天ノ夜八哩

○遞信省告示第百五十二號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス但シ電話呼出規程第四條ノ取扱ヲ爲サス

明治四十四年二月七日

遞信大臣 男爵後藤新平

- | | | | | | |
|---|--------|-------------|---|---------|-----------|
| 名 | 熊野地郵便局 | 和歌山縣東牟婁郡新宮町 | 名 | 京都花園郵便局 | 京都府葛野郡花園村 |
| 位 | 位 | 位 | 位 | 位 | 位 |

○遞信省告示第百五十三號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ郵便物集配事務ヲ開始ス

明治四十四年二月八日

遞信大臣 男爵後藤新平

- | | | | |
|---|-------|---|-----------|
| 名 | 金谷郵便局 | 位 | 千葉縣君津郡金谷村 |
| 位 | 位 | 位 | 位 |

○遞信省告示第百五十四號

三重縣志摩郡の矢港口安乘崎燈臺ハ本月十五日以後左記ノ通變更ス

明治四十四年二月八日

遞信大臣 男爵後藤新平

- 一 燈色 紅色
- 一 燭光數 千六百

○遞信省告示第百五十五號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス但シ電報配達事務ヲ取扱ハス

明治四十四年二月九日

遞信大臣 男爵後藤新平

- | | | | |
|---|-----------|---|----------|
| 名 | 京都新町五條郵便局 | 位 | 京都市下京區新町 |
| 位 | 位 | 位 | 位 |

○遞信省告示第百五十六號

本月十一日ヨリ左記電信取扱所ニ電報配達事務ヲ開始ス

明治四十四年二月九日

遞信大臣 男爵後藤新平

- | | | | |
|---|---------|---|-----------|
| 名 | 宇野電信取扱所 | 位 | 岡山縣兒島郡宇野村 |
| 位 | 位 | 位 | 位 |

○遞信省告示第百五十七號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始ス但シ原町、草津、長野原ノ各郵便局ハ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十四年二月九日

遞信大臣 男爵後藤新平

- | | | | |
|---|--------|---|------------|
| 名 | 原町郵便局 | 位 | 群馬縣吾妻郡原町 |
| 名 | 草津郵便局 | 位 | 群馬縣吾妻郡草津町 |
| 名 | 岩下郵便局 | 位 | 群馬縣吾妻郡岩下村 |
| 名 | 長野原郵便局 | 位 | 群馬縣吾妻郡長野原町 |
| 名 | 大釜郵便局 | 位 | 群馬縣吾妻郡大釜村 |
| 名 | 箱島郵便局 | 位 | 群馬縣吾妻郡箱島村 |
| 名 | 中山郵便局 | 位 | 群馬縣吾妻郡中山村 |
| 名 | 大戸郵便局 | 位 | 群馬縣吾妻郡大戸村 |

○遞信省告示第百五十八號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十四年二月九日

遞信大臣 男爵後藤新平

- | | | | |
|---|-------|---|-------------|
| 名 | 下里郵便局 | 位 | 和歌山縣東牟婁郡下里村 |
|---|-------|---|-------------|

○遞信省告示第百五十九號

本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十四年二月九日

遞信大臣 男爵後藤新平

- | | | | |
|---|-------|---|------------|
| 名 | 鹽津郵便局 | 位 | 和歌山縣海草郡鹽津村 |
|---|-------|---|------------|

明治四十四年二月九日

遞信大臣 男爵後藤新平

- | | | | |
|---|-------|---|------------|
| 名 | 鹽津郵便局 | 位 | 和歌山縣海草郡鹽津村 |
|---|-------|---|------------|

明治四十四年二月九日

遞信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第百六十號
本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十四年二月九日

名 稱 位 置
宮原郵便局 熊本縣八代郡宮原町
鏡野郵便局 熊本縣八代郡鏡野町

逓信大臣 男爵後藤新平
名 稱 位 置
小川郵便局 熊本縣下益城郡小川町

○逓信省告示第百六十一號

明治二十三年八月逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加ノ本月十一日ヨリ之ヲ施行ス
明治四十四年二月九日

肥後國球磨郡人吉町ノ項ノ次ニ

肥後國八代郡宮原町大字宮原村(字明神同野ノ内ヲ除ク)同今野津村大字川原(同野津字法道寺)
肥後國八代郡鏡野町大字鏡野(字三番割同横江同七反間ヲ除ク)同鏡村(字中新地同五左工間ヲ除ク)同内田(字石原ヲ除ク)
肥後國八代郡野村大字吉本
肥後國下益城郡小川町大字小川

○逓信省告示第百六十二號

明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加ノ本月十一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月九日

加入區域外 通話區域	一 通話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一 通話ノ通 常電話料
宮原熊水間	金二十錢	鏡小川間	金五錢
宮原川尻間	金十五錢	鏡熊水間	金二十錢
宮原八代間	金十錢	鏡川尻間	金十五錢
宮原日奈久間	金十五錢	鏡八代間	金十錢
宮原人吉間	金二十錢	鏡日奈久間	金十五錢
宮原鏡間	金五錢	鏡人吉間	金二十錢

○逓信省告示第百六十三號

明治四十二年十二月逓信省告示第千三百四號小包郵便ニ依リ外國ニ輸入スルコトヲ得サル物品中佛蘭西ノ項(獨ノ鐘錶)ノ次ニ金銀鍍金細工品(名地官定ノ定メタル區)ヲ加フ

明治四十四年二月十日

○逓信省告示第百六十四號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十四年二月十日

名 稱 位 置
高橋郵便局 熊本縣玉名郡高橋町

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第百六十五號

本月十六日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

明治四十四年二月十日

現名稱 改 稱 位 置
市場郵便局 森本郵便局 兵庫縣城崎郡奥竹野村
姫路直美郵便局 姫路駅前郵便局 姫路市直美

逓信大臣 男爵後藤新平
現名稱 改 稱 位 置
竹田郵便局 中竹田郵便局 兵庫縣木上郡竹田村

○逓信省告示第百六十六號

明治四十三年十月逓信省告示第千一百二十二號外國無線電報ノ外國海岸料及船舶料金表中左ノ通改正ス
明治四十四年二月十日

伯西兒ノ項ヲ左ノ如ク改ム

伯西兒 OIRO NIRO

逓信大臣 男爵後藤新平

Les Salines (Via Key West Jamaica Porto Rico) 五・六八〇 一 五・六八〇 一
 同項中 Martinique (Via Key West Jamaica Porto Rico) 五・八〇〇 一 五・八〇〇 一
 Martinique (Via Key West Jamaica Porto Rico) 五・八〇〇 一 五・八〇〇 一
 同項中 Marie Galante (Via Key West Jamaica Porto Rico) 七・三六〇 一 七・三六〇 一
 Marie Galante (Via Key West Jamaica Porto Rico) 七・三六〇 一 七・三六〇 一
 同項中 Republic of San Domingo (Via Key West Jamaica Porto Rico) 七・三六〇 一 七・三六〇 一
 Republic of San Domingo (Via Key West Jamaica Porto Rico) 七・三六〇 一 七・三六〇 一
 Dutch Guiana (Via Haiti) ノ項ノ次ニ左ノ通加フ
 Dutch Guiana (Via Jamaica Porto Rico) 六・三三〇 一 六・三三〇 一
 Venezuela (Via Key West Jamaica Porto Rico) 七・三六〇 一 七・三六〇 一
 Venezuela (Via Key West Jamaica Porto Rico) 七・三六〇 一 七・三六〇 一
 French Guiana (Via Key West Jamaica Porto Rico) 六・三三〇 一 六・三三〇 一
 French Guiana (Via Key West Jamaica Porto Rico) 六・三三〇 一 六・三三〇 一

○逓信省告示第七十四號
 明治四十二年六月逓信省告示第六百八號萬國電信條約書附屬國際業務規則第二十七條第四項中「西班牙ノ相當額」ニ「ハセタ」ハ「サンチーム」ト「ハセタ」ヲ「ニハセタ」ト「サンチーム」ト「ハセタ」ト改

明治四十四年二月十四日 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七十五號
 郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合ノ如シ

明治四十四年二月十四日 逓信大臣 男爵後藤新平

香港洋銀	一メラー	八七・四七五	一圓ニ付「メラー」十四「セント」
銀	一メラー	八六・三三三	一圓ニ付「メラー」十五「セント」

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ從前ノ通

○逓信省告示第七十六號
 本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十四年二月十五日 逓信大臣 男爵後藤新平

鹿島郵便局 佐賀縣津浦郡鹿島村 鹽田郵便局 佐賀縣津浦郡鹽田村

○逓信省告示第七十七號
 本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十四年二月十五日 逓信大臣 男爵後藤新平

本庄郵便局	宮崎縣東諸縣郡本庄村	世田米郵便局	鹿手縣氣仙郡世田米村
高岡郵便局	宮崎縣東諸縣郡高岡村	盛野郵便局	鹿手縣氣仙郡盛野町
道分郵便局	鹿岡縣三井郡山川村	大船渡郵便局	鹿手縣氣仙郡大船渡村
北野郵便局	鹿岡縣三井郡北野村	柘植郵便局	三富縣阿山郡柘植村
高田郵便局	鹿手縣氣仙郡高田町	鹿岡郵便局	愛知縣額田郡鹿岡町

○逓信省告示第七十八號
 明治三十三年八月逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月十六日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月十五日 逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位 置
湯本郵便局 長崎縣壹岐郡鯉伏村
長湯郵便局 大分縣直入郡長湯村

名 稱 位 置
加布里郵便局 福岡縣糸島郡加布里村

○遞信省告示第百八十二號
本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十四年二月十五日

遞信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位 置
生月郵便局 長崎縣北松浦郡生月村

名 稱 位 置
館浦郵便局 長崎縣北松浦郡生月村

○遞信省告示第百八十三號

明治四十一年九月遞信省告示第九百十號中加悦局特設電話加入區域ニ左記箇所ヲ追加シ本月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月十五日

遞信大臣 男爵後藤新平

一京都府與謝郡桑飼村大字温江、同郡加悦町大字後野字白米山

○遞信省告示第百八十四號

本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ既送電報ヲモ取扱フ

明治四十四年二月十五日

遞信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位 置
三輪崎郵便局 和歌山縣東牟婁郡三輪崎町

名 稱 位 置
西井岩町郵便局 福井縣若狹郡

○遞信省告示第百八十五號

本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス但シ電話呼出規程第四條ノ取扱ヲ爲サス

明治四十四年二月十五日

遞信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位 置
金澤新野町郵便局 金澤市新野町三丁目

名 稱 位 置
西井岩町郵便局

名 稱 位 置
福井岩町郵便局

名 稱 位 置
福井岩町郵便局

○遞信省告示第百八十六號

本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電信及電話通話事務ヲ開始ス

明治四十四年二月十五日

遞信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位 置
黒木郵便局 岡山縣吉田郡久田村

○遞信省告示第百八十七號

明治三十三年八月遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月十六日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月十五日

遞信大臣 男爵後藤新平

「美作國吉田郡芳野村大字寺元」ノ項ノ次ニ

美作國吉田郡久田村大字黒木同久田上原同久田下原字紙屋塚、大字河内字高倉

○遞信省告示第百八十八號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本月十六日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月十五日

遞信大臣 男爵後藤新平

加入區域外
通話區域

黒木岡山間

黒木津山間

金 二十五錢

金 二十五錢

金 十錢

加入區域外
通話區域

黒木倉敷(中)間

黒木勝間田間

金 二十錢

金 二十錢

金 十錢

加入區域外
通話區域

黒木寺元間

金 二十錢

金 二十錢

金 十錢

金 十錢

○遞信省告示第百八十九號

本月二十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置シ明治三十三年三月勅令第四十一號ニ基テ請願ニ依リ電信事務ヲ開始ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十四年二月十五日

遞信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位 置
高見郵便局 奈良縣吉野郡高見村大字木津(中)間

○遞信省告示第九十號

明治四十二年六月遞信省告示第六百七號外國電報料金表第一表中左ノ通改正ス
明治四十四年二月十六日
遞信大臣 男爵後藤新平
Africa(亞弗利加地方)ノ部Sierra Leon(マール・レオン)ノ項中「Albanta(マバンタ)」ノ次ニ左ノ通加フ

Serabu(サラン)	REBU	ROKA	ROKA
America(亞米利加地方)Central America(中央亞米利加)ノ部中「Costa Rica(コスタリカ)」「Republic of Honduras(ホンジュラス)共和國」及「Nicaragua(ニカラグア)」及「Salvador(サルバドル)」ノ各項ヲ左ノ通改メ			
Costa Rica(コスタリカ)	REBU	REBU	REBU
Republic of Honduras(ホンジュラス)共和國	REBU	REBU	REBU
Nicaragua(ニカラグア)	REBU	REBU	REBU
San Juan del Sur(サン・ファン・デル・スール)	REBU	REBU	REBU
Other places(其ノ他各地)	REBU	REBU	REBU
Salvador(サルバドル)	REBU	REBU	REBU
Libertad(リベルタド)	REBU	REBU	REBU
Other places(其ノ他各地)	REBU	REBU	REBU
○遞信省告示第九十一號			
明治四十二年六月遞信省告示第六百八號外國新聞電報料金表第一表America(亞米利加地方)South America(南亞米利加)ノ部中「Peru(ペルー)白露」及「Uruguay(ウルグアイ)」ノ各項ヲ左ノ通改正ス 明治四十四年二月十六日 遞信大臣 男爵後藤新平			
Peru(ペルー)	REBU	REBU	REBU
Callao(コールオ)	REBU	REBU	REBU
Lima(リマ)	REBU	REBU	REBU

Payta(ペイタ)

Uruguay(ウルグアイ)
Montevideo(モンテビデオ)

○遞信省告示第九十二號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十四年二月十七日

名 稱 坂下郵便局

位 置

愛知縣東春日井郡坂下村

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第九十三號

明治四十三年十月遞信省告示第九十二號外國無線電報ノ外國海岸料及船泊料金表中左ノ通改正ス

明治四十四年二月十七日

「ナタール」ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

英領

「ア」

○二〇〇

上

上

上

「西印度諸島」ノ項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

英領

「ソマリランド」

○二〇〇

上

上

○遞信省告示第九十四號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十四年二月十八日

名 稱 佐伯郵便局

位 置

大分縣南海部郡佐伯町

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第九十五號

明治三十三年八月遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月十八日

遞信大臣 男爵後藤新平

豐後國北海部郡津組村大字津久見ノ項ノ次ニ

豐後國南海部郡佐伯町字佐伯町

○遞信省告示第九十六號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加ノ本月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月十八日

遞信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	一通話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一通話ノ通 常電話料
佐伯大分間	金二十錢	佐伯白杵間	金十五錢
佐伯別府間	金二十五錢	佐伯鶴崎間	金二十錢
佐伯津久見間	金二十五錢	佐伯津久見間	金十錢

○遞信省告示第九十七號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通改正ノ來三月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月十八日

遞信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	一通話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一通話ノ通 常電話料
廣畑路間	金五錢	廣畑千間	金五錢
廣畑鹿間	金五錢	豐野小布間	金五錢

○遞信省告示第九十八號

本月二十八日ヨリ左記二等郵便局ヲ設置シ代金引換及現金取立以外ノ通常郵便物ノヨリ取扱フ同郵便局ハ當該汽船橫濱米國間一往復航海中ニ限り開設シ同局ニ於テ取扱ヒタル事務ハ廢止後橫濱郵便局之ヲ承繼ス

明治四十四年二月二十日

遞信大臣 男爵後藤新平

名	位	名	位
亞米利加丸郵便局	東洋汽船株式會社汽船亞米利加丸	取扱時間	定案港
		局前ニ揭示ス	武藏橫濱

○遞信省告示第九十九號
本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十四年二月二十日

遞信大臣 男爵後藤新平

名	位	名	位
和木郵便局	福岡縣朝倉郡和木村	遞加部郵便局	岡山縣勝田郡勝田村

○遞信省告示第二百號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ
明治四十四年二月二十一日

香港洋銀	一ダラー	八七五五八	一圓二付	一ダラー十四セント
銀	一ダラー	八六三二二	一圓二付	一ダラー十五セント
			九一四	

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ従前ノ通

○遞信省告示第二百一號

來三月一日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス
明治四十四年二月二十一日

現名稱 大村本小路郵便局

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第二百二號
本日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十四年二月二十一日

遞信大臣 男爵後藤新平

名	位	名	位
一宮郵便局	群馬縣北甘樂郡一ノ宮町	子生郵便局	茨城縣鹿島郡大谷村
松井田郵便局	群馬縣碓氷郡松井田町	八名郵便局	愛知縣八名郡八名村
小泉郵便局	群馬縣邑樂郡小泉町	大野郵便局	愛知縣八名郡大野町
馬頭郵便局	栃木縣那須郡馬頭町	鎌山郵便局	岐阜縣可兒郡鎌山町
鉢田郵便局	茨城縣鹿島郡鉢田町	龜山郵便局	三重縣伊賀郡龜山町

○遞信省告示第二百五號

本日ヨリ朝鮮、臺灣及滿洲ニ於テ料金受信人拂外國新聞電報ヲ取扱フ通信官署名左ノ如シ
朝鮮 京城郵便局 仁川郵便局 光化門郵便局 西大門郵便局 釜山郵便局
平壤郵便局 元山郵便局 清津郵便局 城津郵便局
臺灣 臺北郵便局
滿洲 大連郵便局
明治四十二年ハ遞信省告示第七百十五號ハ之ヲ廢止ス

明治四十四年二月二十二日

遞信大臣 男爵後藤新平

〔參照〕

明治四十二年ハ遞信省告示第七百十五號ハ臺灣及韓國ニ於テ料金受信人拂外國新聞電報ヲ取扱フ通信官署名ナリ

○遞信省告示第二百六號

本月二十六日ヨリ左記郵便局ヲ移轉ス
明治四十四年二月二十二日

遞信大臣 男爵後藤新平

名 現 在 位 區
京都四條區町郵便局 京都市下京區室町段小路上ニ隣接町

移 轉 位 區
京都市下京區四條區室町西八月餘町

○遞信省告示第二百七號

本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
明治四十四年二月二十二日

遞信大臣 男爵後藤新平

名 稱 今町郵便局 位 區 宮崎縣那珂郡福島村

○遞信省告示第二百八號

明治三十年ハ遞信省告示第三百五十七號桑名局電話加入區域中左ノ通改正ニ來三月一日ヨリ之

ヲ施行ス

明治四十四年二月二十二日

遞信大臣 男爵後藤新平

一普通加入區域中桑名郡益生村大字矢田字淺川ヲ削除ス
一特別加入區域中桑名郡益生村大字矢田字二段長、同大日、同崩、同小野山、同城山、同笠松、同未之改、大字本願寺字小野山、同笠松ヲ普通加入區域ニ改ム

○遞信省告示第二百九號

明治三十三年ハ遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中伊勢國桑名郡益生村ノ項ヲ「伊勢國桑名郡益生村大字上野字松ノ下」ニ改メ來三月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月二十二日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第二百十號

明治三十六年三勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ來三月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
明治四十四年二月二十四日

名 稱 多比良郵便局 位 區 長崎縣南高來郡多比良村

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第二百十一號

來三月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
明治四十四年二月二十四日

名 稱 山國郵便局 位 區 京都府北桑田郡山國村

遞信大臣 男爵後藤新平

宮郵便局 京都府北桑田郡黒田村 八幡野郵便局 靜岡縣加茂郡城東村

○遞信省告示第二百十二號

來三月一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス但シ電話呼出規程第四條ノ取扱ヲ爲サス
明治四十四年二月二十四日

名 稱 新保郵便局 位 區 福井縣坂井郡新保村

遞信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第二百十三號

本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十四年二月二十四日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第二百十四號

明治三十三年ハ逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月二十六日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月二十四日

逓信大臣 男爵後藤新平

「伊勢國鈴鹿郡龜山町」ノ項ノ次ニ

伊勢國度會郡神社町大字神社港

○逓信省告示第二百十五號

明治三十九年ハ逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本月二十六日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月二十四日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	一 通話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一 通話ノ通 常電話料
神社津間	金二十錢	神社二見間	金五錢
神社山田間	金五錢	神社松坂間	金十五錢
神社島羽間	金十錢	神社大湊間	金十錢

○逓信省告示第二百十六號

來三月一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始ス

明治四十四年二月二十四日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 山崎郵便局

位 置 京都府愛宕郡修學院村

○逓信省告示第二百十七號

本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十四年二月二十四日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 大嶺郵便局

位 置 山口縣美祿郡大嶺村

○逓信省告示第二百十八號

來三月一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十四年二月二十四日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 形原郵便局

位 置 愛知縣寶飯郡形原村

○逓信省告示第二百十九號

明治三十三年ハ逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ來三月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月二十四日

逓信大臣 男爵後藤新平

「三河國寶飯郡御津村」ノ項ノ次ニ

三河國寶飯郡形原村大字形原

○逓信省告示第二百二十號

明治三十九年ハ逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ來三月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月二十四日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位 置

鴻巣郵便局 埼玉縣北足立郡鴻巣町

荒川沖郵便局 茨城縣稻敷郡朝日村

富津郵便局 千葉縣君津郡富津町

大畑郵便局 千葉縣君津郡青畑村

○遞信省告示第二百二十七號

明治三十三年八月遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月二十六日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月二十五日 遞信大臣 男爵後藤新平

「武藏國北葛飾郡幸手町」ノ項ノ次ニ

武藏國北足立郡鴻巣町大字鴻巣(字中三谷同沼田ヲ除ク)

常陸國西茨城郡大戸町ノ項ノ次ニ

常陸國稻敷郡朝日村大字荒川沖(字荒川沖同停車場前)

上總國夷隅郡大原町大字大原ノ項ノ次ニ

上總國君津郡青畑村大字大畑(同西村大字人見字川向同神門同西川尻)

○遞信省告示第二百二十八號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本月二十六日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月二十五日 遞信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	一通常ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一通常ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一通常ノ通 常電話料
鴻巣東京間	金二十五錢	鴻巣橫濱間	金二十五錢	富津東京間	金二十五錢
鴻巣大宮間	金二十五錢	荒川沖東京間	金二十五錢	富津木更津間	金二十五錢
鴻巣浦和間	金二十五錢	荒川沖大宮間	金二十五錢	富津千葉間	金二十五錢
鴻巣川越間	金二十五錢	荒川沖水戸間	金二十五錢	大畑東京間	金二十五錢
鴻巣熊谷間	金二十五錢	荒川沖土浦間	金二十五錢	大畑千葉間	金二十五錢
鴻巣深谷間	金二十五錢	荒川沖水海道間	金二十五錢	大畑大塚間	金二十五錢
鴻巣行田間	金二十五錢	荒川沖龍ヶ崎間	金二十五錢	大畑千葉間	金二十五錢
鴻巣大宮郷間	金二十五錢	荒川沖檜原間	金二十五錢		

○遞信省告示第二百二十九號

來三月一日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申請ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月遞信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十四年二月二十七日 遞信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位 置

岩井郵便局 茨城縣猿島郡岩井町

鬼石郵便局 群馬縣多野郡鬼石町

○遞信省告示第二百三十號

明治四十一年九月遞信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通追加シ來三月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月二十七日 遞信大臣 男爵後藤新平

監督局 開設局 加 入 遞信大臣 男爵後藤新平

東京 岩井 茨城縣 猿島郡 岩井町 大字 岩井(字藤田、同中樓)

同 鬼石 群馬縣 多野郡 鬼石町 大字 鬼石(字上岩井、同中樓)

○遞信省告示第二百三十一號

來三月一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十四年二月二十七日 遞信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位 置

行橋郵便局 福岡縣京都郡行橋町

中津郵便局 大分縣下毛郡中津町

八屋郵便局 福岡縣筑上郡八屋町

宇島郵便局 福岡縣築上郡宇島町

○遞信省告示第二百三十二號

明治三十三年八月遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ來三月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月二十七日 遞信大臣 男爵後藤新平

「豐前國企救郡松ヶ江村大字恆見字恆見」ノ項ノ次ニ

豐前國京郡行橋町大字大橋字イモリ、同津田、同安新地、同沖新地、同川島ヲ除ク。同行事(字小波瀾、同安新地ヲ除ク)同宮市(字海山、同スガリヲ除ク)、延永村大字草野(字三軒家ヲ除ク) 豐前國下毛郡中津町、豐前村大字島田、同中殿、同土宮、同下宮、同大江村大字柳瀬、同大塚、同角木 豐前國築上郡東吉宮村大字廣津字廣津、大字小犬丸字小犬丸 豐前國築上郡八屋町大字八屋 豐前國築上郡宇島町大字宇島、同赤熊(字津田ヲ除ク)

○遞信省告示第二百三十三號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加ノ來三月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月二十七日

遞信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	一、通話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一、通話ノ通 常電話料
長行橋大坂間	金一圓二十	長行橋大坂間	金一圓六十
行橋下關間	金二十錢	行橋下關間	金二十錢
行橋門司間	金二十錢	行橋門司間	金二十錢
行橋小倉間	金二十五錢	行橋小倉間	金二十五錢
行橋若松間	金二十五錢	行橋若松間	金二十五錢
行橋八幡間	金二十五錢	行橋八幡間	金二十五錢
行橋直方間	金二十五錢	行橋直方間	金二十五錢
行橋福岡間	金二十五錢	行橋福岡間	金二十五錢
行橋中津間	金二十五錢	行橋中津間	金二十五錢
行橋宇島間	金二十五錢	行橋宇島間	金二十五錢
行橋八屋間	金二十五錢	行橋八屋間	金二十五錢
長中津大坂間	金二十五錢	長中津大坂間	金二十五錢
中津下關間	金二十五錢	中津下關間	金二十五錢
加入區域外 通話區域	一、通話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一、通話ノ通 常電話料
長中津長崎間	金八十錢	長中津長崎間	金八十錢
中津八屋間	金十錢	中津八屋間	金十錢
中津宇島間	金十錢	中津宇島間	金十錢
中津鶴崎間	金十錢	中津鶴崎間	金十錢
中津白井間	金十錢	中津白井間	金十錢
中津別府間	金十錢	中津別府間	金十錢
中津大分間	金十錢	中津大分間	金十錢
中津大津間	金十錢	中津大津間	金十錢
中津福岡間	金十錢	中津福岡間	金十錢
中津直方間	金十錢	中津直方間	金十錢
中津八幡間	金十錢	中津八幡間	金十錢
中津若松間	金十錢	中津若松間	金十錢
中津小倉間	金十錢	中津小倉間	金十錢
中津門司間	金十錢	中津門司間	金十錢
中津下關間	金十錢	中津下關間	金十錢
中津大坂間	金十錢	中津大坂間	金十錢

○遞信省告示第二百三十四號

來三月一日ヨリ左記郵便局ニ電話呼出規程第四條ノ取扱ヲ開始ス

明治四十四年二月二十八日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第二百三十五號

六莊郵便局 滋賀縣坂田郡六莊村

京都府葛野郡花園村

京都府葛野郡花園村

○遞信省告示第二百三十四號

明治三十三年八月遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加ノ來三月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月二十八日

遞信大臣 男爵後藤新平

「近江國坂田郡入江村」ノ項ノ次ニ

近江國坂田郡六莊村大字室、同藤、同四家、同平方字四軒茶屋、大字大辰己、同永久寺、南郷里村大字大東、同宮司、同小堀
「山城國愛宕郡修學院村」ノ項ノ次ニ
山城國葛野郡花園村大字花園、同御室

○遞信省告示第二百三十六號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治四十四年二月二十八日

遞信大臣 男爵後藤新平

香港洋銀	一ダラー	八八〇三二	一圓二付	一ダラー十三「セント」
暹銀	一ダラー	八七〇三二	一圓二付	一ダラー十四「セント」

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ従前ノ通

○遞信省告示第二百三十七號

埃地利洪島利宛小包郵便物ハ當分ノ内西比利亞經由遞送シ得サル旨關係郵政廳ヨリ通知アリ

明治四十四年二月二十八日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第二百二十八號
長崎縣對馬國下縣郡豆岐崎掛燈立標ハ點火休止ノ處(本年一月遞信省告示第八十六號參照)從前ノ
通照火セリ
明治四十四年二月二十八日
遞信大臣 男爵後藤新平

○朝鮮總督府告示第十八號(官報二月一日)
滿洲其ノ他北清地方ヲ「ベスト」流行地ト指定ス
明治四十四年一月二十四日
朝鮮總督 子爵寺內正毅

○朝鮮總督府告示第十九號(官報二月一日)
明治四十三年統監府告示第七十號 巡查派出所及巡查駐在所ノ名稱、位置中左ノ通改正ス
明治四十四年一月二十六日
朝鮮總督 子爵寺內正毅

清津警察署ノ部「南雲洞」巡查駐在所清津府南雲洞ヲ「珠隅」巡查駐在所會寧郡珠隅ニ改ム
雄基警察署ノ部「芦山」巡查駐在所ノ次ニ「新洞」巡查駐在所慶興郡新洞及「地境」巡查駐在所慶興郡地
境ヲ加フ

○朝鮮總督府告示第二十號(官報二月一日)
明治四十四年一月二十五日限リ左記郵便所ヲ廢止ス同所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ
承繼ス
朝鮮總督 子爵寺內正毅
承繼局名 江陵郵便局

○朝鮮總督府告示第二十一號(官報二月一日)
「ベスト」豫防ノ爲當分ノ内新義州稅關支署管内左記ノ場所ニ於テ輸出入手續ヲ中止シ且「ベスト」
所名 恩津郵便所 故區 忠清南道恩津郡恩津邑
承繼局名 江陵郵便局

流行地ヨリ渡來スル旅客ノ上陸ヲ禁ス

明治四十四年一月二十六日

一 龍岩浦稅關出張所

二 四幕稅關監所

○朝鮮總督府告示第二十二號(官報二月二日)

滿洲其ノ他北清地方ヨリ群山又ハ木浦ニ來航スル船舶ハ新義州、鎮南浦、仁川又ハ釜山ニ於テ檢疫
ヲ受ケタル上入港スヘシ

前項ノ船舶ニ對シ稅關ニ於テ尙檢疫上消毒、鼠族驅除等ヲ必要トスル場合ニハ檢疫ノ設備アル他
ノ港ニ回航ヲ命スルコトアルヘシ

明治四十四年一月二十七日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

○朝鮮總督府告示第二十三號(官報二月六日)

明治四十三年十一月十四日左記學校組合ノ設立ヲ認可ス

明治四十四年一月三十一日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

○朝鮮總督府告示第二十四號(官報二月六日)

明治四十三年十二月二十八日左記學校組合ノ設立ヲ認可ス

明治四十四年一月三十一日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

名 稱 羅州學校組合

地 區 羅州郡東部面、西部面、新村面(斗盧口浦南端ノ丘陵ノ分水點ヨリ、西陽第二丘陵ノ分水
點ヲ經テ内榮山及潭村ヲ除外シ、南ニ折レテ若溪浦ニ至ル)傳那面、伏岩面、金安面及
南平郡金馬山面ノ地

○朝鮮總督府告示第二十五號(官報二月六日)
明治四十四年一月十日左記學校組合ノ設立ヲ認可ス

朝鮮總督 子爵寺内正毅
名 稱 北青學校組合 地 區 北青郡城內及城外四方一里以內

○朝鮮總督府告示第二十六號(官報二月六日)
明治四十四年一月二十日左記學校組合ノ設立ヲ認可ス

朝鮮總督 子爵寺内正毅
名 稱 聖光學校組合 地 區 全羅南道靈光郡靈光邑內ヲ基點トシテ方一里以內

○朝鮮總督府告示第二十七號(官報二月六日)
明治四十四年一月二十六日左記學校組合ノ設立ヲ認可ス

朝鮮總督 子爵寺内正毅
名 稱 苗浦學校組合 地 區 扶安郡苗浦ヲ中心トシテ附近一里四方

○朝鮮總督府告示第二十八號(官報二月七日)
「ベスト」豫防ノ爲當分ノ内嶺南浦稅關及仁川稅關管内各監視署ニ於ケル輸出入手續ノ取扱ヲ停止
シ併テ我克船ノ入港ヲ禁ス

朝鮮總督 子爵寺内正毅
明治四十四年一月三十一日

○朝鮮總督府告示第二十九號(官報二月七日)
隆熙四年内部告示第二十八號龍山、元山間及太田、木浦間鐵道用地ニ當ル各坊面内ニ在ル土地、地
上物件ノ賣買、典質及家屋墳墓ノ新造等禁止ノ區域中左記地籍ニ係ル分ハ別紙圖面ニ記載ノ禁止
區域ヲ除クノ外其ノ禁止ヲ解除ス

別紙圖面ハ所轄道廳又ハ郡廳ニ就キ閱覽スヘシ
明治四十四年二月二日
左 記

朝鮮總督 子爵寺内正毅



○朝鮮總督府告示第三十號(官報二月九日)
明治四十四年二月三日左記學校組合ノ設立ヲ認可ス

朝鮮總督 子爵寺内正毅
名 稱 順天學校組合 地 區 順天郡蘇安面順天城內ヲ中心トシテ方五十丁以內

○朝鮮總督府告示第三十一號(官報二月九日)
明治四十四年二月三日左記學校組合ノ設立ヲ認可ス

朝鮮總督 子爵寺内正毅
名 稱 海南學校組合 地 區 海南郡一重邑内ヲ中心トシテ方五十丁以內

○朝鮮總督府告示第三十二號(官報二月十五日)
明治四十四年二月二十一日ヨリ左記郵便所ヲ設置ス

朝鮮總督 子爵寺内正毅
所 名 突山郵便所 位 全羅南道突山郡突山邑 所 名 寧道郵便所 位 平安南道寧道郡寧道邑

○朝鮮總督府告示第三十三號(官報二月十五日)
明治四十四年二月二十日限り左記郵便所ヲ廢止ス同所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便所ヲレテ之ヲ承繼セシム

明治四十四年二月十日

朝鮮總督 子爵寺内正毅

所名	位	承繼所名
突山郵便所	全羅南道突山郡突山邑	突山郵便所
寧遠郵便所	平安南道寧遠郡寧遠邑	寧遠郵便所

○朝鮮總督府告示第三十四號(官報二月二十日)

明治四十四年二月十三日左記學校組合ノ設立ヲ認可ス

明治四十四年二月十四日

朝鮮總督 子爵寺内正毅

南平學校組合

南平郡内面東村面雅浦面頭山面、雲浦面、蓮川面、德谷面、光州郡、一部德谷面、大校面、桂村面、方下洞面、柳洞谷面、春和里郡、一部西面、越州郡、一部石南面

○朝鮮總督府告示第三十五號(官報二月二十三日)

官立漢城師範學校速成科分放場ヲ當分ノ内官立平壤高等學校構内ニ置ク

明治四十四年二月十八日

朝鮮總督 子爵寺内正毅

○朝鮮總督府告示第三十六號(官報二月二十五日)

汽船天草丸外十五艘ニ左ノ信號符字ヲ照附ス

明治四十四年二月二十日

朝鮮總督 子爵寺内正毅

信號符字	番號	種類	船名	船籍港	所	有	者
PBCV	一九	汽	天草丸	仁川	合資會社秋田商會		

PBGK	二三	汽	安來丸	仁川	合資會社秋田商會		
PBDG	二七	汽	江原丸	元山	合資會社吉田船船部		
PBHJ	三三	汽	永興丸	元山	合資會社吉田船船部		
PBHG	三三	汽	慶興丸	元山	合資會社吉田船船部		
PBGN	七〇	汽	成慶丸	仁川	合資會社秋田商會		
PBGR	七三	汽	光濟丸	仁川	朝鮮總督府通信局		
PBGS	七四	帆	龍浦丸	仁川	朝鮮總督府航海標識管理所		
PBGT	七六	汽	海利丸	仁川	金永錫		
PBHT	九三	帆	金濟丸	釜山	徐致五		
PBHV	九四	汽	第三運勢丸	釜山	木浦航海合名會社		
PBHW	九五	帆	隆盛丸	釜山	金致太		
PBJC	九六	帆	柳盛丸	釜山	趙云賢		
PBJD	九七	汽	宗信丸	釜山	釜山汽船株式會社		
PBJF	九八	汽	順天丸	釜山	釜山汽船株式會社		
PBJG	九九	汽	光陽丸	釜山	釜山汽船株式會社		

○朝鮮總督府告示第三十七號(官報二月二十七日)

朝鮮西岸仁川港朝鮮總督府航海標識管理所屋上ニ點燈セル試驗燈(隆熙四年元關稅局告示第百十號參照)ノ燈火ハ白色ヲ常トスルモ來ル二月二十五日ヨリ隨時紅色又ハ綠色ニ變更スルコトヲ

ルル

明治四十四年二月二十一日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

○朝鮮總督府告示第三十八號(官報二月二十八日)
明治四十四年二月二十五日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

朝鮮總督 子爵寺內正毅

局名 汶山郵便局

位置 京畿道坡州郡七井面汶山浦

○臺灣總督府告示第三號(官報二月一日)

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治三十九年七月告示第五十一號特設電話事務取扱ヲ爲ス郵便局所ノ名稱並其ノ位置及指定區域中
宜蘭郵便局指定區域内ノ部ニ左ノ如ク加フ

宜蘭縣員山堡金六結庄ノ内土名五結

○臺灣總督府告示第四號(官報二月一日)

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治四十四年二月一日ヨリ嘉義廳下茄苳南堡烏樹林庄ヲ店仔口郵便出張所ノ電報直配區域内ニ
編入ス

明治四十四年一月二十一日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第五號(官報二月一日)

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

臺中廳線東堡彰化街楊炳煌ニ對シ明治三十九年十月二十七日下付シタル紳章第八百十二號紛失ノ
旨ヲ以テ再下付願出タルニ依リ明治四十四年一月二十一日是ヲ下付セリ

明治四十四年一月二十二日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第六號(官報二月一日)

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治三十九年七月告示第五十一號特設電話事務取扱ヲ爲ス郵便局所ノ名稱並其ノ位置及指定區域ニ
左ノ追加ヲ明治四十四年一月二十七日ヨリ加入申込ヲ受理ス

明治四十四年一月二十五日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

局所名 埔里社郵便局

位置 (埔里社街)

指定區域内 南投廳埔里社堡埔里社街
南投廳埔里社堡枇杷城庄ノ内土名枇杷城庄
南投廳埔里社堡大肚城庄ノ内土名大肚城庄
嘉義廳西螺堡西螺街

西螺郵便出張所

(西螺街)

○臺灣總督府告示第七號(官報二月七日)

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

打狗港ニ於ケル公ノ航路識別ノ爲左記ノ無燈浮標ヲ設置ス

明治四十四年一月二十七日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

位置 打狗燈臺ヲ南六十八度三十分東ニ見タル線ト暴風標ヲ北八十二度東ニ見タル線ノ
交叉點

形狀及著色 鐵製圓筒形ニシテ赤色ニ塗リ水面上ノ高サ二尺白色ニテナル記號ヲ附ス

第二浮標

位置 第一浮標ヨリ正北百間ノ點

形狀著色 鐵製圓筒形ニシテ黑色ニ塗リ水面上ノ高サ二尺赤色ニテナル記號ヲ附ス

○臺灣總督府告示第八號(官報二月十日)

明治四十一年律令第四號官設埤圳規則第二條ニ依リ官設埤圳后里圳區域中本日左記ノ通指定ス

此ノ區域内ニ在ル土地ノ地番、地目、申取及業主名ハ臺中廳ニ備ヘアル指定測量圖面ニ就キ閲覧ス
ヘシ

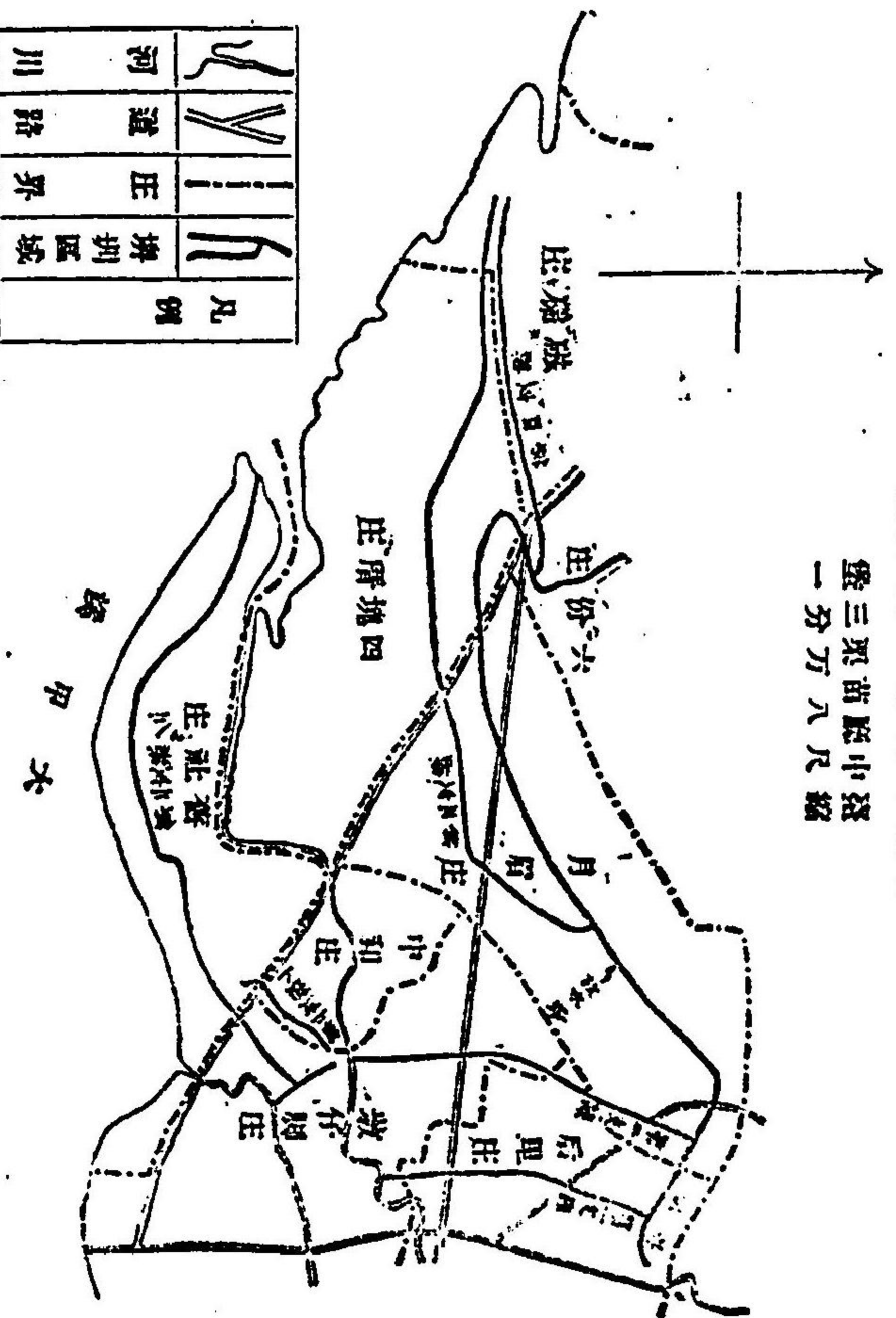
明治四十四年一月二十七日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

一所在 臺中廳苗栗三堡后里庄、墩仔脚庄、月眉庄、中和庄舊社庄、口塊厝庄、磁磙庄、六份庄
一埤圳ノ起點及經過 左ノ通

官地圳圳后里圳區域圖

全圖三葉 葉中第一
一 分 八 尺



○臺灣總督府告示第九號(官報二月十日)
 明治四十四年一月三十一日限臺南電信取扱所ヲ廢止ス
 明治四十四年一月二十八日

臺灣總督 伯耆佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第十號(官報二月十日)
 明治三十九年七月告示第五十一號特設電話事務取扱ヲ爲ス郵便局所ノ名稱並其ノ位置及指定區域ニ
 左ノ通追加シ明治四十四年一月二十九日ヨリ加入申込ヲ受理ス
 明治四十四年一月二十八日

臺灣總督 伯耆佐久間左馬太

后里庄郵便出張所 (別荘庄)
 指定區域内
 臺中縣苗栗三後后里庄
 臺中縣苗栗三後后里庄

○臺灣總督府告示第十一號(官報二月十日)
 明治四十四年二月一日ヨリ二月二十一日迄臺南南部物産共進會場内ニ臺南郵便局所屬臺南共進會
 郵便出張所ヲ設置シ左記各項ニ依リ其ノ事務ヲ取扱ハシム但シ當該所ニ於テ取扱ロムル事務ハ共
 ノ廢止後臺南郵便局ニ於テ之ヲ承繼ス
 明治四十四年一月二十九日

臺灣總督 伯耆佐久間左馬太

取扱時間 午前九時ヨリ午後十時迄
 取扱事務 一郵便切手類ノ賣捌
 二郵便物ノ引受
 三和文電報ノ受付
 四公衆電話通信及呼出請求

特殊日附印 明治四十四年二月一日ヨリ二月二十一日迄差出人ノ希望ニ依リ第一種及第二種普
 通通常郵便物ニ對シ左記雜形ノ特殊日附印(紫色)ヲ使用ス但シ使用期間中日附ヲ
 更植セス

雛形



○臺灣總督府告示第十二號 (官報二月十日)
臺南廳赤山堡官佃庄陳人英ニ對シ明治三十一年十月二十一日下付シタル紳章第四百四十四號遺失ノ旨ヲ以テ再下付願出タルニ依リ明治四十四年一月二十七日之ヲ下付セリ

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第十三號 (官報二月十日)

明治四十四年二月一日ヨリ明治四十三年三月告示第四十五號臺灣小學校同分教場ノ名稱及位置中「臺北第三尋常高等小學校」ノ次ニ「臺北第四尋常高等小學校 臺北廳大加蚋堡三板橋庄ヲ花蓮港尋常高等小學校吳全城分教場」ノ次ニ「宜蘭尋常高等小學校 花蓮港廳遠鄉宜蘭社」ヲ加フ

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第十四號 (官報二月十日)

明治四十四年一月ヨリ同年六月迄農商務省ニ於テ海流調査ノ爲郵便葉書在中別記圖式ノ如キ様ヲ太平洋、日本海並オコソク海ニ投入スルニ付海上又ハ海岸ニ於テ之ヲ發見シタル者ハ該場中ノ

葉書ニ發見ノ位置、時日番號及發見者ノ住所、氏名ヲ記載シ直ニ農商務省水產局宛之ヲ發送スヘシ
(別記) 圖式
臺灣總督 伯爵佐久間左馬太



○臺灣總督府告示第十五號 (官報二月十六日)
明治四十四年二月九日ヨリ埔里社郵便局ニ於テ臺灣總督府非常通信規則ニ依リ電信ニ關スル非常通信事務ヲ開始ス

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第十六號 (官報二月十六日)

明治四十四年二月八日限眉溪非常通信所ヲ廢止ス但シ同所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ埔里社郵便局ニ於テ之ヲ承繼ス

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第十七號 (官報二月十六日)

明治四十四年二月十日ヨリ花蓮港廳下崙蘭ニ乘降場ヲ設置シ鐵道運輸營業ヲ開始ス其ノ哩程左ノ通

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

白	正	壹	圓
花	蓮	港	一

○臺灣總督府告示第十八號(官報二月十六日)

明治四十四年二月十一日ヨリ后里庄郵便出張所ニ於テ電信及電話業務ヲ兼掌シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十四年二月九日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第十九號(官報二月十六日)

明治三十七年十一月十一日 告示第四百四十五號電話呼出地域ニ左ノ通追加ス

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

一 臺中區苗栗三堡后里庄
一 臺中區苗栗三堡洲登庄

○臺灣總督府告示第二十號(官報二月十六日)

明治四十四年二月十日限后里庄電信取扱所ヲ廢止ス但シ同所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ后里庄郵便出張所ニ於テ之ヲ承繼ス

明治四十四年二月九日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第二十一號(官報二月二十八日)

明治三十九年七月告示第五十一號特設電話事務取扱ヲ爲ス郵便局所ノ名稱並其ノ位置及指定區域ニ左ノ通追加シ明治四十四年二月十五日ヨリ加入申込ヲ受理ス

明治四十四年二月十四日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

局所名 林內郵便出張所

位 置 (林內庄)

指定區域內 蘇雅潭斗六堡林內庄ノ內林內

○臺灣總督府告示第二十二號(官報二月二十八日)

明治四十年十月府令第八十一號臺灣小學校規則ニ依リ明治四十四年四月一日ヨリ小學校ニ於テ使用スヘキ教科用圖書左ノ如シ

明治四十年二月十二日 告示第九十號及明治四十三年二月告示第十九號ハ明治四十四年三月三十一日限之ヲ廢止ス

明治四十四年二月十七日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

尋常小學校

教科	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年	
修身	尋常小學修身 教師用卷一 尋常小學修身 兒童用卷一	尋常小學修身 教師用卷二 尋常小學修身 兒童用卷二	尋常小學修身 教師用卷三 尋常小學修身 兒童用卷三	尋常小學修身 教師用卷四 尋常小學修身 兒童用卷四	高等小學修身 第一學年 教師用 尋常小學修身 第一學年 兒童用	高等小學修身 第二學年 教師用 尋常小學修身 第二學年 兒童用	
國語	尋常小學國語 第一學年 尋常小學國語 第二學年 尋常小學國語 第三學年 尋常小學國語 第四學年 尋常小學國語 第五學年 尋常小學國語 第六學年	尋常小學國語 第一學年 尋常小學國語 第二學年 尋常小學國語 第三學年 尋常小學國語 第四學年 尋常小學國語 第五學年 尋常小學國語 第六學年	尋常小學國語 第一學年 尋常小學國語 第二學年 尋常小學國語 第三學年 尋常小學國語 第四學年 尋常小學國語 第五學年 尋常小學國語 第六學年	尋常小學國語 第一學年 尋常小學國語 第二學年 尋常小學國語 第三學年 尋常小學國語 第四學年 尋常小學國語 第五學年 尋常小學國語 第六學年	尋常小學國語 第一學年 尋常小學國語 第二學年 尋常小學國語 第三學年 尋常小學國語 第四學年 尋常小學國語 第五學年 尋常小學國語 第六學年	尋常小學國語 第一學年 尋常小學國語 第二學年 尋常小學國語 第三學年 尋常小學國語 第四學年 尋常小學國語 第五學年 尋常小學國語 第六學年	尋常小學國語 第一學年 尋常小學國語 第二學年 尋常小學國語 第三學年 尋常小學國語 第四學年 尋常小學國語 第五學年 尋常小學國語 第六學年
算術	尋常小學算術 第一學年 尋常小學算術 第二學年 尋常小學算術 第三學年 尋常小學算術 第四學年 尋常小學算術 第五學年 尋常小學算術 第六學年	尋常小學算術 第一學年 尋常小學算術 第二學年 尋常小學算術 第三學年 尋常小學算術 第四學年 尋常小學算術 第五學年 尋常小學算術 第六學年	尋常小學算術 第一學年 尋常小學算術 第二學年 尋常小學算術 第三學年 尋常小學算術 第四學年 尋常小學算術 第五學年 尋常小學算術 第六學年	尋常小學算術 第一學年 尋常小學算術 第二學年 尋常小學算術 第三學年 尋常小學算術 第四學年 尋常小學算術 第五學年 尋常小學算術 第六學年	尋常小學算術 第一學年 尋常小學算術 第二學年 尋常小學算術 第三學年 尋常小學算術 第四學年 尋常小學算術 第五學年 尋常小學算術 第六學年	尋常小學算術 第一學年 尋常小學算術 第二學年 尋常小學算術 第三學年 尋常小學算術 第四學年 尋常小學算術 第五學年 尋常小學算術 第六學年	尋常小學算術 第一學年 尋常小學算術 第二學年 尋常小學算術 第三學年 尋常小學算術 第四學年 尋常小學算術 第五學年 尋常小學算術 第六學年
日本歷史					尋常小學日本歷史 第一學年 尋常小學日本歷史 第二學年	尋常小學日本歷史 第三學年 尋常小學日本歷史 第四學年	

科目	第一學年	第二學年
地理	高等小學毛筆畫帖教師用	高等小學毛筆畫帖第四學年用
理科	高等小學毛筆畫帖第三學年用	高等小學理科書常用小學理科書第五學年兒童用第六學年兒童用
國語	高等小學毛筆畫帖第一學年用	高等小學毛筆畫帖第二學年用
修身	高等小學修身書第三學年教師用	高等小學修身書第四學年教師用
算術	高等小學算術書第一學年兒童用	高等小學算術書第二學年兒童用
日本歷史	高等小學日本歷史兒童用卷一	高等小學日本歷史兒童用卷二
地理	高等小學地理兒童用卷一	高等小學地理四

高等小學毛筆畫帖第一學年 男生用 女生用	高等小學毛筆畫帖手本 男生用 女生用 第四學年
高等小學算術書第一學年兒童用	高等小學算術書第四學年教師用
高等小學算術書第二學年兒童用	高等小學算術書第四學年兒童用
高等小學日本歷史兒童用卷一	高等小學日本歷史兒童用卷二
高等小學地理兒童用卷一	高等小學地理四

〔参照〕

明治四十年十一月二十八日(官報) 臺灣總督府告示第九十號及同四十二年二月二十二日(官報) 臺灣總督府告示第十九號ハ本號ト同伴ナリ

○臺灣總督府告示第二十三號(官報二月二十八日)

明治四十三年十一月二十號告示第七十號ヲ以テ告示シタル安平澎湖島間海底電線修理工事ノ爲東吉嶼附近ニ碇置セシ赤色筒形浮標ハ流失セリ

明治四十四年二月十八日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第二十四號(官報二月二十八日)

明治三十九年七月告示第五十一號特設電話事務取扱ヲ爲ス郵便局所ノ名稱並其ノ位置及指定區域中嘉義郵便局ノ指定區域内ニ左ノ如ク加フ

明治四十四年二月十八日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

嘉義縣嘉義西邊山仔頂庄ノ内神土名王田庄
嘉義縣嘉義西邊山仔頂庄ノ内阿里山鐵道線路ヨリ北方四丁以内ノ地

○關東都督府告示第十號(官報二月三日)

明治四十四年二月一日ヨリ四平街郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十四年一月二十六日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第十一號(官報二月三日)

明治四十年二月告示第十號電話呼出地域中左ノ通過加ス

一四平街驛附近

○關東都督府告示第十二號(官報二月三日)

明治四十一年二月告示第十七號電話加入區域外通話區域及其ノ電話通話料、電話呼出料中左ノ通過加シ明治四十四年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年一月二十六日

關東都督 子爵大島義昌

加入區域外 通話區域	一週ノ電 話呼出料	加入區域外 通話區域	一週ノ電 話呼出料
警口開原間ノ次ニ	金一圓	開原昌圖間ノ次ニ	金三十錢
遼陽撫順間ノ次ニ	金七十錢	開原四平街間	金二十五錢
奉天昌圖間ノ次ニ	金五十五錢	昌圖四平街間	金二十五錢
奉天四平街間	金二十五錢	開原長春間ノ次ニ	金二十五錢
鐵嶺昌圖間ノ次ニ	金三十五錢	四平街公主嶺間	金三十五錢
鐵嶺四平街間	金二十五錢	四平街長春間	金二十五錢

○關東都督府告示第十三號(官報二月七日)

明治四十四年一月三十一日限り牛家屯郵便局ヲ廢止シ當該局ノ發務ハ左記ノ區別ニ依リ各下記郵便局及電信局之ヲ繼承ス

明治四十四年一月二十八日

關東都督 子爵大島義昌

繼承事務
大石橋郵便局
警口電信局

郵便、郵便爲替、郵便貯金事務
電信及電話通話事務

○關東都督府告示第十六號(官報二月十三日)

明治四十四年二月一日以降關東州租借地輸出入貨物及租借地以外ノ地へ輸送スル貨物ニ就テハ關東州租借地稅關假規則第十六條乃至第十九條ニ規定セル報告書及申告書ニハ各其ノ事項ヲ具備シ左記ノ手續ニ依リ大連海關ニ提出スヘシ

明治四十四年一月三十一日

關東都督 子爵大島義昌

- 一關東州租借地稅關假規則第十六條及第十八條ニ依リ船舶積荷目錄ハ第一號樣式ニ依リ二通ヲ提出スヘシ
- 一同規則第十七條ニ依リ荷受人ノ報告書ハ第二號樣式ニ依リ二通ヲ作り荷物搭載船舶ノ入港後三十日以内ニ之ヲ提出スヘシ
- 一同規則第十九條ニ依リ輸出貨物申告書ニハ產地又ハ製造地ヲ記入シ第三號樣式ニ依リ二通ヲ提出スヘシ
- 一租借地以外ノ地へ輸送スル貨物ニ就テハ第四號樣式ニ依リ報告書ヲ稅關ニ提出シ検査ヲ經タル後更ニ其ノ副本ヲ提出スヘシ
- 一租借地以外ノ地へ聯絡輸送スル貨物ニ限リ第二號及第四號ノ樣式ニ依リ報告書ヲ提出スルコトヲ要セス此ノ場合ニ於テハ第五號樣式ニ依リ報告書ヲ提出シ稅關ノ検査ヲ經タル後更ニ其ノ副本ヲ提出スヘシ
- 一前各項ノ報告書又ハ申告書ノ數量及價額ヲ表示スル數字ハ漢字又ハ亞刺比亞數字トス

附則

明治四十一年五月告示第五十六號及同年十二月告示第二百二十號ハ之ヲ廢止ス

EXPORT.

Customs No.
To the To the
Dairen, 19

COMMISSIONER OF CUSTOMS

Vessel for

Applicants.....

Please grant Permit to SHIP, for which DUTY MEMO is required.

第三號樣式(本樣式(左欄)又)

第 號

輸出申告書

下記貨物三對之船積荷許可相
願度候三付ノハ納稅告知書御
交付相度候御出

明治 年 月 日
申告者

大連海關長殿

二月期名

一仕向地

Marks. 荷印 件數	Pkgs. 數	Description of Goods. 品名		Pieces. 個數	Weight. 重量		Value. 價值	Duty. 稅
		Japanese or English. 日本文又ハ英文	名		Piculs. 石	Qta. 斤		

検査主務者

Per.....

合計 海關兩

IMPORT.

Customs No.
To the Dairen, 19

COMMISSIONER OF CUSTOMS.

By Train..... to

Applicants.....

Please grant Permit to IMPORT, for which DUTY MEMO is required.

第四號樣式

第 號

輸入申告書

下記貨物三對價二俵ノ輸入取
レ度ニ付納稅告知書御交付相
成候御出

明治 年 月 日
申告者

大連海關長殿

一仕向地

二月期名

Marks. 荷印 件數	Pkgs. 數	Place of Production or Manufacture. 産出地若クハ 製造地	Description of Goods. 品名		Pieces. 個數	Weight. 重量		Value. 價值	Duty. 稅
			Japanese or English. 日本文又ハ英文	Chinese. 漢文		Piculs. 石	Qta. 斤		

検査主務者

Per.....

合計 海關兩

○關東都督府告示臨時第五號(官報二月一日)

明治四十四年一月二十一日ヨリ左ノ停車場ニ於テ汽車檢疫ヲ施行ス

明治四十四年一月二十日

金州 普蘭店

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示臨時第六號(官報二月一日)

上海港務部ハ滿洲ヲ「ベスト」流行地ト認メ大連及滿洲諸港ヨリ來ル船舶ニ對シ一月十九日ヨリ檢疫施行ノ告示ヲ發布シタル旨在上海帝國總領事ヨリ電報アリタリ

明治四十四年一月二十日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示臨時第七號(官報二月一日)

臨時防疫本部ヲ奉天警務署内ニ置キ明治四十四年一月二十五日ヨリ其ノ事務ヲ開始ス

明治四十四年一月二十二日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示臨時第八號(官報二月十日)

明治四十四年一月二十七日付電報ヲ以テ朝鮮總督府政務總督ヨリ左ノ通知アリタリ

「ベスト」豫防ノ爲朝鮮總督府ニ於テハ滿洲其ノ他北清地方ヲ「ベスト」流行地ト指定シ同地方ヲ發シ又ハ經過シ來ル船舶ニ對シテハ各稅關ニ於テ十日間ノ停船ヲ命シ檢疫ヲ勸行シ右地方ヨリ積積古綿、古著類、古紙類、古革皮類、古毛布類、古敷物類、古麻袋類其ノ他病毒汚染ノ虞アル物品ノ輸入ヲ禁止シ又大豆、小豆、唐蜀黍其ノ他食用品及食料原料品ハ十分消毒スルコト能ハス病毒汚染ノ虞アルニ付各稅關ニ於テ輸入ヲ禁止ス

明治四十四年一月三十日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示臨時第九號(官報二月十日)

大連海關稅務司ヨリ左ノ通知アリタリ

汕頭海關道及領事團ハ芝罘及滿洲各港ヲ惡疫流行地ト認メ右各港ヨリ入港ノ船舶ニ對シ檢疫ヲ行フ旨同地稅關長ヨリ通知アリタリ

明治四十四年一月三十一日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示臨時第十號(官報二月十七日)

在香港帝國領事ヨリ香港總督ハ二月四日ノ官報ヲ以テ芝罘秦皇島大連牛莊ヲ傳染病流行地ト認ムル旨布告セル趣電報アリタリ

明治四十四年二月六日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示臨時第十一號(官報二月十七日)

上海海關長ヨリ同地ニ於テハ惡疫流行地ヨリ出發スル船舶ハ出發ノ日ヨリ六日間經過スルニ非レハ入港ヲ許ササルコトニ改定セル旨通知アリタル趣大連海關長ヨリ通知アリタリ

明治四十四年二月六日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示臨時第十二號(官報二月二十四日)

惡疫流行地ヨリ天津及秦皇島へ入港セムトスル船舶ニ對シ入港ノ日ヨリ七日間停船ヲ命スル旨通知アリタリ

明治四十四年二月九日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示臨時第十三號(官報二月二十四日)

芝罘帝國領事ヨリ滿洲其ノ他「ベスト」流行地ヨリ來ル船舶ハ檢疫ノ爲出發ノ日ヨリ七日間當地ニ於テ停船ヲ要スルコトナレリ尤モ清國人ヲ乗セサル船舶ハ停船ヲ要セサルヘキ旨電報アリタリ

明治四十四年二月十三日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第十四號(官報二月二十四日)
 英國領事ヨリ香港ニ於テハ關東州ヨリ入港シタル船舶ニ對シ總テ檢疫ヲ施行ス但「ベスト」患者若
 ハ之ニ疑ハシキ患者ナキトキハ直ニ開放セラルヘキ旨通知アリ
 明治四十四年二月十三日
 關東都督 子爵大島義昌

○内閣告示第二號
 樺太ニ於ケル地名左ノ通改正ス
 明治四十四年三月二十一日

舊地名

- バラツトナイ
- トーブツ
- エツトツカホリウキニ
- チャウシ
- イルレブシノ
- ホツケチツク
- チリワサン
- ナイプト
- ノトノワ
- カシヨカナイ
- カシヨカナイ川
- コヌワオ
- (コノワオ)
- ヤングナイ
- カラカイ

内閣總理大臣 侯爵桂太郎

改正地名

原ノ北ノ越ノ南ノ中ノ法ノ散ノ内ノ能ノ可ノ可ノ此ノ矢ノ級
 戸ノ遠ノ德ノ舟ノ舟ノ華ノ江ノ殖ノ向
 岬ノ淵ノ山ノ越ノ越ノ山ノ湖ノ太ノ登ノ殖ノ川ノ輪ノ内ノ貝

ポロコタンウトル
 アイハカナイボ
 トナイボ
 モサクコタン
 サクコタン川
 サクコタン
 イツウシナイ
 チヤカマウシナイ
 ホカナイ
 シルトル
 ツーマナイ
 ウエンコタン
 ヤンケナイ
 ツウシ
 レブンゲナイ
 ポロナイボ
 カシボ

樞_東東_宗矢_北相_東保_茶磯_東東_茂杜_愛大_大
 保_帆禮_遠知_加柵_柵丹_丹鵜_鵜
 川_保文_司向_丹馬_取内_釜牛_丹川_柵内_博取_取

クワマル
 ツーヤ
 モツトマリ
 アカラ
 フレチシ
 ホヤンケ
 マグンコタン
 ノポリボ
 ノポリボ
 ノポリボ
 ペケ
 チカポロナイ
 ワーレ
 マヌエ
 シンノシコマナイ
 シララカ
 ポロナイ
 マトマナイ

眞_保東_中眞_輪近_邊南_北馬_帆婦_赤元_東鉄_鉄
 呂_白登_登群_矢宗_宗
 苦_川浦_濱纒_荒帆_計帆_帆潭_向禮_浦泊_谷丸_丸

オクサン
 イタダクスナイ
 ア
 リヤルイサン
 ナイブチ
 ホロナ
 シユマヤ
 サカエハマ
 フンベトマリ
 オブサキ
 サツサジ
 ロレイ
 キナウシ
 オトマリ
 オチツブナイ
 エンルンコマナイ
 マダカナイ

野・埼・落・歌・北・香・察・北・北・榮・島・帆・内・里・相・北・小
 木・ 負・踏・ 耶・ 板・田・
 高・澤・歩・泊・名・禮・札・咲・邊・濱・矢・奈・淵・累・川・田・塞

ツウウンナイ (シヨウウンナイ)

キナウレ
 モイレトマリ
 ノツホ
 ノツサンナイ
 フンベトマリ
 イヌヌナイ
 イヌヌナイ川
 アヤウシウワキ
 アナヌナイ
 シユマコタン
 シユマコタン川
 オブサキ
 モイレトマリ
 ウエンコタン
 ススウシ
 イタダクスナイ

南・煤・南・南・南・島・島・亞・綾・犬・犬・南・野・野・北・南・宗
 板・ 遺・ 藻・ 負・ 古・ 古・ 主・ 踏・ 帆・ 藻・ 木・
 田・ 牛・ 丹・ 入・ 咲・ 川・ 丹・ 南・ 牛・ 川・ 主・ 邊・ 塞・ 岬・ 入・ 名・ 運

オチヨボカ
 チリキヌシ
 トンナイチヤ
 スリュウダ岬
 ムラモルヌイ岬
 サツトホ
 大マンベツ川
 オマンベツマールイ
 トマリ
 大ヤマンベツ川
 小ヤマンベツ川
 フレツマ
 フレツマ岬
 モシリ
 ナイオンナイ川
 コチヨベツ
 ヌツチケイ

野、胡、内、茂、赤、赤、小、瀨、泊、小、瀨、札、白、雲、富、散、落、
 蝶、音、志、岩、瀨、瀨、瀨、別、岩、母、毛、
 月、別、川、里、岬、岩、川、川、川、川、塔、岬、岬、内、主、帆、

ナイトモ
 ホラブニ
 トーブツ
 トーブツ湖
 (ブツセ湖)
 ワワイ湖
 アラクリ
 チベサニ
 チベサニ湖
 チベサニ岬
 カマトマリ
 ニガシキナレーチカ
 (レブンケベツ)
 ベールイカーメン
 ツーヤ岬
 オタサン
 オタイレンコ
 メレイ川
 メレイ

女、女、小、小、中、白、種、釜、池、池、池、荒、和、遠、遠、洞、内、
 麗、田、宗、文、邊、邊、邊、愛、瀨、
 麗、川、井、田、岬、石、別、泊、岬、湖、瀨、栗、湖、湖、瀨、舟、友、

アルチルレリースカヤパーチ
 (ユートメンナイ)
 サウイナパーチ
 エンルムカ
 ペルワヤパーチ
 フメラヤパーチ
 トレーチパーチ
 ナクローベ
 グ
 ルーメカ
 ルーメカ川
 リ
 フレコタン
 マラアンナイ
 マラアンナイ川
 ペフレナイ
 ボロナイボ
 シブナイ

遊_シ 帆_フ 赤_セ 多_タ 多_タ 伏_フ 利_リ 留_{リウ} 留_{リウ} 漢_{カン} 江_{カウ} 三_{サン} 二_ニ 一_{イチ} 對_{タイ} 雄_{ユウ} 勇_{ユウ}
 内_{ナイ} 蘭_{ラン} 蘭_{ラン} 多_タ 多_タ ノ ノ ノ ノ 馬_バ 吠_{ハイ} 度_ド
 内_{ナイ} 保_ホ 川_{カン} 川_{カン} 内_{ナイ} 子_シ 長_{チャウ} 川_{カン} 加_カ 路_ロ 浦_ポ 澤_ゼ 澤_ゼ 澤_ゼ 峴_{ケン} 泊_{ハク} 丹_{タン}

パーチンスカヤレーチカ
 (イカツケナイ川)
 ウリウ
 ウリウ川
 モンゼナイ
 ペシトル
 マキシムキナレーチカ
 (ハチコナイ)
 ドロ川
 (トマリオンナイ)
 フルエ川
 トマリウンナイ
 (フルエ)
 トイクシ
 オーホイ
 ブーチ
 リヤトマリ
 ナイシヤ川
 ナイシヤ
 モツナイ

持_チ 内_{ナイ} 内_{ナイ} 利_リ 瀧_{タキ} 大_{ダイ} 問_{モン} 古_コ 古_コ 泊_{ハク} 鉢_{ハチ} 菱_{メイ} 門_{モン} 雨_ウ 雨_ウ 池_チ
 砂_サ 屋_ウ 江_{カウ} 尾_ビ 子_シ 龍_{リウ} 月_{ゲツ}
 内_{ナイ} 砂_サ 川_{カン} 泊_{ハク} 吠_{ハイ} 申_{シン} 江_{カウ} 川_{カン} 川_{カン} 内_{ナイ} 取_ク 瀨_{セイ} 川_{カン} 龍_{リウ} 川_{カン}

ライトマリ
 モゴツイ
 ノボリ
 チシヤ碑
 ピシヤサン
 シラヌレ
 ペシトマナイ
 ツーニ碑
 ウエンチシ
 トクシナイ川
 ナヤレ川
 モシラルシナイ川
 モシラルシナイ
 シブレナイボ
 シブシナイボ川
 ウイニ
 シイナイ川

権字 遊遊 藻藻 南十 遠宗 菱白 尾知 登孫 來
 内牛 白名 申知 仁 沙志 谷
 川仁 川牛 白川 川川 川志 碑苦 主讚 崎 杖治

ナイボロ
 ケヌシナイボ
 ウシネコロ川
 トコンボ
 トコンボ川
 ホントケシ
 トープリ
 オコウ
 アサンナイ
 タラントマリ川
 タラントマリ
 オハトマリ
 トマリボケレ
 ビロチ
 テモトマリ
 アケブシ
 (アツケウシ)
 トマオマイ

苦明 天廣 泊大 多多 麻阿 遠本 吐吐 牛氣 内
 茂 帆 穂 開 鯉 鯉 荷
 舞牛 泊地 岸泊 泊川 内幸 節斗 川保 川主 幌

テ、イ
ポントマリ
マウカ川
クメコマイ
ウエントマリ
チツシナイボ
ポロトマリ
ボシコタン
トマリボ
ラクマカ
トンナイケレ
トコタン
トコタン
モシララボ
ソイヤナイボ
オコナイボ
バボマイ

羽・北・西・藤・床・床・富・業・泊・木・嶋・智・宇・乗・異・木・手・
母・奥・宗・白・丹・内・古・志・遠・子・岡・
舞・内・谷・帆・丹・嶋・岸・野・帆・丹・泊・内・泊・舞・川・泊・井・

オムトモ
ノトロ岬
レツメンナイ川
ニヌツス
トブケシ
トープツ川
レルトルナイボ
ノダサン
パイカサプシ
チエトウシナイボ
ハチコナイ川
クラツシノナイボ
ビタラエンルム
オレモナイボ
(オレモナイボ)
(ビタラエンルム)
アヴシニエカンナイボ
アラコイ
ハツパスウシナイボ

初・荒・亞・美・小・久・鉢・杖・賣・野・西・唐・飛・仁・列・小・歌・
能・
多・良・子・田・知・佛・多・丹・登・
呂・
運・鯉・牛・良・霜・志・川・遠・花・塞・取・川・岸・須・川・岬・友・

クアマナイボ
 モユンルナイボ
 チーカイナイボ
 (アリベウナイボ)
 カモイナイボ
 オフテフコロ
 ウツス
 チイカベシボナイボ
 ヤンケツ
 イシヤンベナイボ
 オルンベウントマリ
 トモウンナイ
 ペシボウニ
 ビスボナイボ
 (ボロコフ)
 ビスボナイボ
 (ツネヲアバナイボ)
 トマリオロ
 トマリホ

北_シ泊_シ 曾_シ 帆_シ 邊_シ 杜_シ 居_シ 勇_シ 沖_シ 近_シ 綿_シ 追_シ 知_シ 有_シ 小_シ 桑_シ
 泊_シ 志_シ
 帆_シ 居_シ 根_シ 子_シ 保_シ 門_シ 部_シ 部_シ 岩_シ 麓_シ 巖_シ 手_シ 登_シ 部_シ 碑_シ 間_シ

オツイコントマリ
 エベケレンルン
 チヨホマナイボ
 カラオワナイボ
 シラオロ
 クスンナイ
 チライフナイボ
 ニホナイボ
 バイカイシヤクレ
 (ボロナイボ)
 バイカイシヤクシ
 (ウランナオナイボ)
 バイカイシヤクシ
 (モインルンボ)
 ノツサン川
 エビシ川
 オタス川
 タイチシカ湖
 ライチシカ

来_シ 来_シ 小_シ 惠_シ 野_シ 崩_シ 宇_シ 洞_シ 仁_シ 智_シ 久_シ 西_シ 唐_シ 千_シ 江_シ 尾_シ
 知_シ 田_シ 比_シ 津_シ 春_シ 白_シ 帆_シ
 志_シ 湖_シ 川_シ 川_シ 川_シ 留_シ 關_シ 内_シ 尾_シ 来_シ 内_シ 浦_シ 緒_シ 岡_シ 部_シ 添_シ

コタンウトル川
チライケオソ
エンドクシナイボ
オクサナイボ
ニオイ
ボロトマリ
ウストマナイ
ナイコトロ
イクントマリ
ホロケシ
ウシヨロ
テクナイボ
モテクナイボ
アモイ
チオンナイ
カークイナイボ
ホロエンルン

大_白千_天茂_書綱_帆衣_内牛_北荷_小圓_知古_来
岸_帆 來_丹
崎_伊瀬_内竹_内城_岬燕_胡苦_治負_草度_岬川_沼

オムトウ
トーロ
モエトンナイ
イトナイ
イカエンルム
チオナイ
モロロチ
セルツナイ
ホロオムナイ
ボンオムナイ
シヤコタン
アクシユナイ
アクシユナイ
アクシユナイ
ソイヤ
ソイヤ
ヨルタナイ
ヨルクナイ川

沃_沃北_北立_提西_小恩_旗諸_千伊_糸藻_塔雄_武
内_宗 宗_谷 橋_恩 糸_武
川_内谷_岬岩_珠丹_内内_津津_緒加_音音_音路_沼

オヤオナイ川
 アモベシ
 ヲロウイヨフカ
 プラゴスロウエンチエンスコエ
 第一リスクレセンスコエ
 第二リスクレセンスコエ
 ペトロパウロスコエ
 ウスベンスコエ
 ウーゴリナパーチ
 ゴールイムス
 ミツリヨフカ
 ソローキノ
 リストエニチノエ
 パリシヤヤエラニ
 ホムトフカ
 プリヂニエー
 ダルネー
 トロイツコエ

草小鈴川深東大西園大東大東深川鈴小草
 親安貝小平小中古新中坂唐大清道軍
 野沼原塚別川
 野里澤島場里下松澤分川川

ルゴウオエ
 ノウオアレキサンドルフスコエ
 ススヤ
 プスタキ
 クレストイ
 イリムンスコエ
 パリシヤタコエ川
 パリシヤタコエ
 イロノウスコエ
 マシリエフスコエ
 ペロレチエンスコエ
 マーロタコエ
 マーロタコエ川
 ガルキノウラスコエ
 ホタロウスコエ
 ナデシエンスコエ
 アドラーツノエ

草小鈴川深東大西園大東大東深川鈴小草
 野沼原塚別川
 野里澤島場里下松澤分川川

カザンスコエ
 ロマノフスコエ
 ズナーメンカ
 ニコライフスコエ
 (シアン)
 マーロウエチキナ
 (アタカラコタン)
 トプキ
 クラスノレチエンスコエ
 シラヌシ山
 イナホヌプリ
 (ロバチンパス)
 ウリウヌプリ
 ウエシヨーツヤ
 (ルータカヌプリ)
 ペルニセワト
 (メノコ山)
 ノムサンヌプリ
 (スパンベルグ山)
 ライチマカ山
 ウレヨロ山

深草 渡瀬 山 志 亞 柏 曲 白 裕 雨 留 女 野 釜 溝
 山 中 安 寶 漢 主 龍 多 子 田 伏 山
 草 瀬 中 安 寶 漢 主 龍 多 子 田 伏 山

コタントル山
 イサラ山
 (イチヤラ山)
 エスツル山
 ウインヂス山
 ポロヌプリ
 トツツヌプリ
 シララカ山
 フリト山

古丹山 伊皿山 惠須取山 遠知志山 帆登岳 突阻岳 白浦山 振戸山

○鐵道院告示第九號

明治四十四年三月二十二日ヨリ九州豊州本線中山香日出間鐵道運輸營業ヲ開始ス其哩程左ノ通
 明治四十四年三月十七日 鐵道院總裁 男爵後藤新平

中山香日出間 五哩五分

杵築日出間

五哩五分

○鐵道院告示第十號

明治四十二年鐵道院告示第五十四號國有鐵道線路名稱中豊州本線ノ「中山香」日出間ニ改メ
 明治四十四年三月十七日 鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第十一號

來ル四月一日ヨリ左記各項ニ依リ手荷物及小荷物ノ特別配達ヲ開始ス
 明治四十四年三月二十四日 鐵道院總裁 男爵後藤新平

一特別配達ノ取扱ヲ爲スヘキ手荷物及小荷物ハ院線各驛發左記各驛著ノモノニ限ル但其配達區域ハ驛所在地市内及其驛ヨリ凡ソ一里半以内ノ地トス

新橋、上野、飯田町、兩國橋、品川、横濱、平沼、名古屋、京都、大阪、濱町、三ノ宮、神戸

一手荷物ハ一箇ニ付金拾貳錢、小荷物ハ一箇ニ付重量三十斤又ハ容積五才迄金五錢以上三十斤又ハ五才及其未滿ヲ増ス毎ニ金五錢ヲ加フ

一特別配達ニ係ル荷物ハ特使ヲ以テ急速配達ノ取扱ヲ爲スモノトス

○鐵道院告示第十二號

明治四十四年四月一日ヨリ東海道本線石山停車場ニ於テ一級大貨物ノ取扱ヲ開始ス

明治四十四年三月二十七日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第十三號

明治四十一年^{十二}鐵道院告示第四號鐵道管理局内各事務所ノ名稱位置及所管區域中九州鐵道管理局鳥栖運輸事務所及同保線事務所所管區域ノ欄「二日市木葉間」ヲ「二日市門司起點九十四哩三十鎮間」ニ熊本運輸事務所及同保線事務所所管區域ノ欄「木葉鹿兒島間」ヲ「門司起點九十四哩三十鎮鹿兒島間」ニ改メ四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年三月二十九日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第十四號

明治四十一年^{十二}鐵道院告示第一號鐵道院出張所名稱位置及所管區域中米子出張所所管區域ノ欄「香住今市間及米子境間」ヲ「香住濱田間、米子境間、倉吉驛倉吉間、今市杵築間」ニ改メ四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年三月三十一日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第十五號

明治四十一年^{十二}鐵道院告示第二號鐵道院建設事務所名稱位置及所管區域中北海道建設事務所所管區域ノ欄「野付牛下湧別間」若松建設事務所所管區域ノ欄「二郡山平間」ヲ追加シ、中津建設事務所所管區域ノ欄「宇佐大分間」ヲ「柳ヶ浦佐伯間」ニ改メ四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年三月三十一日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第十六號

明治四十一年^{十二}鐵道院告示第五號鐵道管理局所屬工場名稱及位置中北海道鐵道管理局ノ欄「札幌工場」次ニ左ノ追加シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年三月三十一日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

名 稱 位 置
函 館 工 場 函 館

○宮内省告示第四號

樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ左記ノ世傳御料ハ之ヲ解除セラレ

一富士御料地中山梨縣甲斐國西八代郡所在全部六百八十八町四段二畝十三步及同縣同國南都留郡所在ノ内一萬三千二十町三段八畝一步

一萩原御料地中山梨縣甲斐國東山梨郡所在ノ内六萬二千三百九十六町一段六畝二十步

一丹澤御料地中山梨縣甲斐國南都留郡所在全部二千二百四十七町七段十步

一相川御料地中山梨縣甲斐國東山梨郡所在ノ内千九百六十二町步

明治四十四年三月七日

宮内大臣 子爵渡邊千秋

○宮内省告示第五號

明治四十年宮内省告示第九號帝室林野管理局支廳出張所ノ名稱位置及管轄區域中甲府支廳ノ部ヲ

仕拂期日 明治四十四年六月二十四日
右割引ノ方法ヲ以テ本月二十五日之ヲ發行セリ

明治四十四年三月二十七日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第二十五號

明治四十一年大藏省告示第百號中左ノ通改正シ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年三月三十一日

大藏大臣 侯爵桂太郎

第三條第二號中「各等鹽共前項ノ金額ヨリ」ヲ「前項ノ金額ヨリ」並等散鹽ニ在リテハ金二十七錢其ノ他ニ在リテハ「三、第三號中」三十錢ヲ「三十三錢」ニ改ム

〔參照〕

大藏省告示第百號(明治四十一年六月十六日)抄録

第三條 鹽賣法第十九條第一項第一號ニ依リ外國ニ輸出シ又ハ鹽賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル鹽及事實鹽特別定例

賣渡及交付金下付規則第一條ノ用途ニ使用スル鹽ノ賣渡價格左ノ如シ

一 鹽 上等鹽金九十九錢、並等鹽金九十二錢但シ包裝シタル鹽ニ付テハ金十二錢ヲ加フ

二 鹽 鹽賣法施行規則第一條ノ用途ニ使用スル鹽ニ付テハ各等鹽共前項ノ金額ヨリ金二十四錢ヲ減ス

三 關東州鹽 金九十八錢

鹽賣法施行規則第一條ノ用途ニ使用スル鹽ニ付テハ前項ノ金額ヨリ金三十錢ヲ減ス

○陸軍省告示第四號

明治四十年五月陸軍省告示第十號臨時陸軍建築部支部出張所ノ名稱及位置中東京支部ノ部ニ左ノ通追加ス

明治四十四年三月九日

陸軍大臣 子爵寺內正毅

出張所名稱 下志津出張所

位置 千葉縣印旛郡千代田村

○陸軍省告示第五號

明治四十年陸軍省告示第九號中臨時陸軍建築部名古屋支部ノ位置「豐橋市」ヲ「東京市」ニ改ム
明治四十四年三月十四日

陸軍大臣 子爵寺內正毅

○陸軍省告示第六號

明治四十年陸軍省告示第九號中臨時陸軍建築部大阪支部ノ位置「京都府紀伊郡深草村大字福稻」ヲ「東京市」ニ改ム
明治四十四年三月二十三日

陸軍大臣 子爵寺內正毅

○陸軍省告示第七號

明治四十年陸軍省告示第九號中臨時陸軍建築部仙臺支部ノ位置「新潟縣中頸城郡高城村」ヲ「東京市」ニ改ム
明治四十四年三月二十九日

陸軍大臣 子爵寺內正毅

○陸軍省告示第八號

臨時陸軍建築部小倉支部日出生臺出張所ハ之ヲ閉鎖ス
明治四十四年三月三十一日

陸軍大臣 子爵寺內正毅

○陸軍省告示第九號

明治四十四年十二月陸地測量部修技所生徒十名ヲ募集ス
但シ募集手續ハ明治三十六年三月陸軍省令第三號陸地測量部修技所生徒募集規則ニ依ル
明治四十四年三月三十一日

陸軍大臣 子爵寺內正毅

○陸軍省告示第十號

明治四十年五月陸軍省告示第十號臨時陸軍建築部支部出張所ノ名稱及位置中東京支部ノ部ニ左ノ通追加ス
明治四十四年三月三十一日

陸軍大臣 子爵寺內正毅

出張所名稱 津田沼出張所

位置 千葉縣千葉郡津田沼町

○司法省告示第八號

長野地方裁判所管内福島區裁判所ニ備ヘアリシ左記ノ登記申請書滅失シタリ
明治四十四年三月二十九日 司法大臣 子爵岡部長職

滅失シタル登記申請書

受附ノ年月日	受附番號	登記ノ目的	申請人ノ氏名
明治四十一年五月二十一日	一九三四	土地建物抵當權設定	申請人ノ氏名 小島 仁一 小島 廣三 小島 廣之助
同年六月十七日	二一八五	土地建物所有權移轉	杉本 三郎 久野 三郎 杉本 三郎
同年七月三十日	二四七四	同	杉本 三郎 久野 三郎 杉本 三郎
同年八月三日	二四九〇	土地抵當權設定	杉本 三郎 久野 三郎 杉本 三郎
明治四十二年二月二十五日	七〇二	土地建物所有權移轉	杉本 三郎 久野 三郎 杉本 三郎
同年五月五日	二二九三	同	杉本 三郎 久野 三郎 杉本 三郎
同年六月三日	一一	土地登記簿原本交付申請	杉本 三郎 久野 三郎 杉本 三郎
同年六月五日	一一	土地建物登記簿原本交付申請	杉本 三郎 久野 三郎 杉本 三郎

浦和地方裁判所管内幸手區裁判所加須出張所ニ備ヘアル左記ノ登記簿ハ滅失ノ虞アルヲ以テ不動産登記法第二十四條ニ依リ其登記ノ轉寫ヲ命ジタリ

明治四十四年三月三十一日

滅失ノ虞アル登記簿

司法大臣 子爵岡部長職

北埼玉郡大桑村大字南大桑 土地登記簿
第四册ノ内登記第九十號乃至第九十二號用紙
同郡志多見村大字志多見 土地登記簿

第二册ノ内登記第八十七號乃至第九十號用紙
第二十一册ノ内登記第九千四百六號乃至第九千五百號用紙
同郡同村大字平永 土地登記簿
第二册ノ内登記第九十二號乃至第九百號用紙
同郡同村大字串作 土地登記簿
第十册ノ内登記第四百八十三號乃至第四百九十八號用紙

○司法省告示第十號

富山地方裁判所管内杉木新區裁判所城端出張所ニ備ヘアリシ東礪波郡南山田村土地登記簿第三百四十五册 明治四十三年九月 滅失シタリ
滅失シタル土地登記簿ニ登記ヲ受ケタル者又ハ同出張所ニ對シ登記ニ關スル通知若クハ囑託シタル官廳、公署ハ本年六月三十日マテニ登記回復ノ申請ヲ爲シ又ハ共通知若クハ囑託ヲ爲スヘシ
前項ニ定メタル期日マテニ登記ノ回復ヲ申請シ又ハ囑託スルトキハ登記シタル權利ハ仍ホ前登記簿ニ於ケル順位ヲ有スヘシ

明治四十四年三月三十一日

司法大臣 子爵岡部長職

○文部省告示第三十八號

愛知縣東春日井郡瀬戸町ニ設置セル町立瀬戸陶器學校ノ組織ヲ變更シテ明治四十四年四月ヨリ縣立ト爲シ愛知縣立陶器學校ト改稱ノ件認可セリ

明治四十四年三月二日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第三十九號

小學校教科用圖書翻刻發行ニ關スル規程ニ依リ翻刻發行ヲ許可スル小學校教科用圖書中定價ヲ定ムルコト左ノ如シ

明治四十四年三月二日

文部大臣 小松原英太郎

一高等小學新定畫帖 第一學年教師用

定價金八錢五厘

○文部省告示第四十號

關東都督府中學校生徒並其ノ卒業者ハ他ノ學校へ入學轉學ニ關シ明治三十二年勅令第二十八號中學校令ニ依リ設置シタル府縣立中學校生徒及卒業者ト同等ト認ム

明治四十四年三月二日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第四十一號

右ハ文官任用令第三條第三號ニ依リ認定ス

明治四十四年三月二日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第四十二號

右ハ徵兵令第十三條並文官任用令第三條第三號ニ依リ認定ス

但シ認定ノ效力ハ別科生ニ及ハス

明治四十四年三月二日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第四十三號

私立^{帝國婦}實業女學校高等女學部ヲ東京府豐多摩郡澁谷町ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月三日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第四十四號

私立^{帝國婦}實業女學校實科高等女學部ヲ東京府豐多摩郡澁谷町ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月三日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第四十五號

千葉縣市原郡立市原實科高等女學校ヲ同縣同郡鶴舞町ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月三日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第四十六號

千葉縣市原郡鶴舞町ニ設置セル市原郡立市原染織學校ヲ明治四十四年三月限り廢止ノ件認可セリ

明治四十四年三月三日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第四十七號

香川縣三豐郡立三豐實科高等女學校ヲ香川縣三豐郡觀音寺町ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月三日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第四十八號

香川縣三豐郡觀音寺町ニ設置セル香川縣三豐郡立三豐實業女學校ヲ明治四十四年三月限り廢止ノ件認可セリ

明治四十四年三月三日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第四十九號

佐賀縣藤津郡北鹿島村外四箇村學校組合立鹿島高等女學校ヲ明治四十四年四月ヨリ郡立ニ變更シ藤津郡立鹿島高等女學校ト改稱ノ件認可セリ

明治四十四年三月二日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第五十號

沖繩縣國頭郡各村組合立農學校ヲ明治四十四年四月ヨリ縣立ニ變更シ沖繩縣立農學校ト改稱ノ件
認可セリ

明治四十四年三月三日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第五十一號

兵庫縣立農學校ニ對スル徵兵令並文官任用令上ノ認定ニ關スル明治三十二年文部省告示第十七號
並第十八號ニ但シ認定ノ效力ハ別科生ニ及ハスヲ加フ

明治四十四年三月三日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第五十二號

東京市日本橋區小傳馬上町ニ設置セル東京市立商業夜學校ノ位置ヲ同市同區燭殺町ニ變更ノ件
認可セリ

明治四十四年三月八日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第五十三號

福島縣相馬郡立相馬實科高等女學校ヲ同縣同郡中村町ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件
認可セリ

明治四十四年三月九日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第五十四號

福島縣相馬郡中村町ニ設置セル郡立相馬女子技藝學校ヲ明治四十四年三月三十一日限り廢止ノ件
認可セリ

明治四十四年三月九日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第五十五號

兵庫縣姫路市ニ設置セル私立姫路高等女學校ヲ明治四十四年三月限り廢止ノ件認可セリ

明治四十四年三月九日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第五十六號

私立東北高等女學校ヲ巖手縣盛岡市ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月十日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第五十七號

新潟縣刈羽郡比角村ニ農業學校規程乙種組織ニ依リ新潟縣刈羽郡立農業學校ヲ設置シ明治四十四
年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月十日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第五十八號

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス
廣島縣立西條農學校

明治四十四年三月十一日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第五十九號

岡山縣岡山市大字廣瀬町ニ商業學校規程甲種程度ニ依リ私立吉備商業學校ヲ設置シ明治四十四年
四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月十一日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十號

新潟縣東頸城郡安塚村ニ農業學校規程乙種組織ニ依リ新潟縣東頸城郡立安塚農業學校ヲ設置シ明

治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月十四日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十一號

大阪府立江戸堀高等女學校ヲ同府大阪市西區ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月十四日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十二號

富山縣師範學校女子部ノ位置ヲ富山縣上新川郡堀川村大字小泉村ニ選定ノ件認可セリ

明治四十四年三月十四日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十三號

右ハ徵兵令第十三條並文官任用令第三條第三號ニ依リ認定ス

茨城縣立工業學校

明治四十四年三月十七日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十四號

右ハ徵兵令第十三條並文官任用令第三條第二號ニ依リ認定ス

兵庫縣神戸市立神港商業學校

明治四十四年三月十七日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十五號

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

栃木縣私立下野中學校

明治四十四年三月十七日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十六號

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

栃木縣私立鳥山中學校

明治四十四年三月十七日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十七號

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

文部大臣 小松原英太郎

明治四十四年三月十七日

○文部省告示第六十八號

三重縣南牟婁郡立實科高等女學校ヲ同縣同郡木本町ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

文部大臣 小松原英太郎

明治四十四年三月十七日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十九號

和歌山縣伊都郡應其村ニ農業學校規程乙種組織ニ依リ和歌山縣伊都郡立農工學校ヲ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

文部大臣 小松原英太郎

明治四十四年三月十八日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十號

福岡縣福岡市大乗寺前町ニ徒弟學校規程ニ依リ私立福岡工業徒弟學校ヲ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

文部大臣 小松原英太郎

明治四十四年三月十八日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十一號

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

文部大臣 小松原英太郎

明治四十四年三月二十日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十二號

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

文部大臣 小松原英太郎

明治四十四年三月二十日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十三號

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

文部大臣 小松原英太郎

明治四十四年三月二十日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十一號

新潟縣中魚沼郡十日町ニ農業學校規程乙種組織並徒弟學校規程ニ依リ新潟縣中魚沼郡立十日町實業學校ヲ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月二十日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十二號

熊本縣飽託郡本山村ニ徒弟學校規程ニ依リ熊本市立工業徒弟學校ヲ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月二十日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十三號

熊本縣飽託郡本山村ニ設置セル飽託郡立工業徒弟學校ヲ明治四十四年三月三十一日限り廢止ノ件認可セリ

明治四十四年三月二十日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十四號

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

明治四十四年三月二十一日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十五號

東京府私立東洋商業學校ニ對スル徵兵令第十三條ニ依リ認定ノ效力ハ夜學專修科生ニ及ハス

明治四十四年三月二十一日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十六號

静岡縣志太郡立農學校

右ハ徵兵令第十三條並文官任用令第三條第三號ニ依リ認定ス但シ認定ノ效力ハ講習科生ニ及ハス

明治四十四年三月二十一日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十七號

德島縣立工業學校ニ對スル徵兵令第十三條ニ依リ認定ノ效力ハ聽講生ニ及ハス

明治四十四年三月二十一日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十八號

新潟縣立村松中學校ヲ新潟縣中蒲原郡村松町ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月二十一日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十九號

滋賀縣阪田郡長濱町立長濱實科高等女學校ヲ同縣同郡同町ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月二十一日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第八十號

香川縣香川郡一宮村ニ農業學校規程乙種組織ニ依リ香川縣香川郡立香川實業學校ヲ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月二十一日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第八十一號

私立海星中學校ヲ長崎縣長崎市ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月二十一日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第八十一號

明治四十四年三月二十一日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第八十二號

大阪府私立關西大學ニ對スル徵兵令第十三條ニ依ル認定ノ效力ハ專門部高等商業科生ニ及ハス
明治四十四年三月二十三日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第八十三號

茨城縣西茨城郡笠間町外五箇村學校組合立農學校ノ組織ヲ變更シテ郡立ト爲シ明治四十四年四月ヨリ茨城縣西茨城郡立農學校ト改稱ノ件認可セリ
明治四十四年三月二十三日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第八十四號

三重縣志摩郡鳥羽町ニ設置セル鳥羽町立鳥羽商船學校ヲ明治四十四年四月ヨリ縣立ニ變更シ三重縣立鳥羽商船學校ト改稱ノ件認可セリ
明治四十四年三月二十三日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第八十五號

三重縣飯南郡立寶科高等女學校ヲ同縣同郡松阪町ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ
明治四十四年三月二十三日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第八十六號

右ハ徵兵令第十三條並文官任用令第三條第三號ニ依リ認定ス
福井縣福井市立福井商業學校
明治四十四年三月二十四日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第八十七號

廣島縣私立進德實科高等女學校ヲ同縣廣島市ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ
明治四十四年三月二十四日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第八十八號

熊本縣立球磨農業學校ニ對スル徵兵令並文官任用令上認定ノ效力ハ別科生ニ及ハス
明治四十四年三月二十五日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第八十九號

東京府東京市下谷區谷中初音町ニ徒弟學校規程ニ依リ東京市立第一女子技藝學校ヲ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ
明治四十四年三月二十五日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第九十號

千葉縣海上郡立銚子實科高等女學校ヲ同縣同郡銚子町ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ
明治四十四年三月二十五日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第九十一號

千葉縣海上郡銚子町ニ設置セル海上郡立銚子技藝學校ヲ明治四十四年三月三十一日限り廢止ノ件認可セリ
明治四十四年三月二十五日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第九十二號

巖手縣西磐井郡立西磐井實科高等女學校ヲ同縣同郡一關町ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ
明治四十四年三月二十五日 文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第九十三號

巖手縣西磐井郡一關町ニ設置セル郡立西磐井女子職業學校ヲ明治四十四年三月三十一日限り廢止

ノ件認可セリ

明治四十四年三月二十五日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第九十四號

私立善通寺實科高等女學校ヲ香川縣仲多度郡善通寺町ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月二十五日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第九十五號

水海道町外六箇村學校組合立御城實科高等女學校ヲ茨城縣結城郡水海道町ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月二十五日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第九十六號

入江町外四箇町村學校組合立巴實科高等女學校ヲ靜岡縣安倍郡入江町ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月二十五日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第九十七號

九州帝國大學工科大學ノ事務ハ文部省内ニ於テ取扱ヒ來リタル處四月一日ヨリ福岡縣粕屋郡箱崎町同學内ニ於テ之ヲ取扱フ

明治四十四年三月二十七日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第九十八號

山口縣大津郡立大津高等女學校ヲ同縣同郡深川村ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月二十八日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第九十九號

熊本縣菊池郡隈府町外十一箇村組合立菊池實科高等女學校ヲ同縣同郡隈府町ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月二十八日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第一百號

大分縣直入郡立實科高等女學校ヲ同縣同郡竹田町ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月二十八日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第一百一號

長野縣町立岩村田農學校、北佐久郡芦田村外二箇村學校組合立蓼科乙種農學校、長野縣小諸町立商工學校ノ組織ヲ變更シテ明治四十四年四月ヨリ郡立トナシ、長野縣北佐久郡立岩村田農學校、長野縣北佐久郡立蓼科乙種農學校、長野縣北佐久郡立小諸商工學校ト改稱ノ件認可セリ

明治四十四年三月二十八日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第一百二號

私立濱松實科高等女學校ヲ靜岡縣濱名郡濱松町ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月三十一日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第一百三號

巖手縣膽澤郡立實科高等女學校ヲ同縣同郡水澤町ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十四年三月三十一日

文部大臣 小松原英太郎

